

公益社団法人

# 全国柔道整復学校協会

# 会報

令和7年7月

第75号

- ◆ 第67回 教員研修会について
- ◆ 令和7年度 学校運営改善等助成事業の交付決定状況について
- ◆ 令和7年度 組織運営委員会 第1回研修会報告
- ◆ 令和7年度 定時総会（令和6年度事業報告及び決算報告）
- ◆ わが街の見どころ聞きどころ（日本柔道整復専門学校）
- ◆ 教員紹介リレー（森ノ宮医療学園専門学校 葉山 直史 先生）

# 柔道整復学校養成施設倫理綱領

## 主 旨

公益社団法人全国柔道整復学校協会は、質の高い柔道整復師育成を以って国民の保健衛生の向上に寄与するため、柔道整復師養成施設（以下「学校」という）の倫理綱領を定める。

### 1. 学校の使命

学校は、国民の保健衛生の向上に寄与する柔道整復師を養成することを使命とし、建学の精神と理念を実践し、教育水準の維持及び質の向上に努める義務と社会的責務を全うするものとする。

### 2. 教育水準の維持及び質の向上

学校は、常に教員の資質の向上と教育内容の充実を図るとともに、多種多様な分野に対応し得る質の高い専門的教育を推進し、社会に求められる柔道整復師の育成に努める。

### 3. 自主性と他校連携

学校は、建学の精神と理念に基づき自主性をもった学校運営を行う中で、教育水準の維持及び質の向上を念頭に、他校とも連携し、社会に貢献できる柔道整復師を育成することに努める。

### 4. 法令等の遵守

学校は、養成施設指定規則及び指導ガイドライン並びにその他の法令を遵守すると同時に、公序良俗に違反する行為を排し、柔道整復師養成施設としての社会的責務を果たす中で、国民からの信頼と期待を得ることに努める。

### 5. 学校評価の推進

学校は、質の高い教育とよりよい教育環境の整備と充実を図るため、自己点検・自己評価の実施はもとより、第三者評価にも積極的に取り組み、同時にこれに基づいた情報公開を行うことで、透明性の高い学校運営に努める。

平成 29 年 12 月

公益社団法人 全国柔道整復学校協会

# 会報



令和7年 ● 第75号

## 目次

	頁
第67回 教員研修会について .....	2
令和7年度 学校運営改善等助成事業の交付決定状況について .....	5
令和7年度 組織運営委員会 第1回研修会報告 .....	6
令和7年度 定時総会（令和6年度 事業報告及び決算報告） .....	9
【理事会議事録】	
・ 令和6年度 第13回、令和7年度 第1回、第2回 .....	62
【委員会の状況】	
・ 教育支援委員会専科教員認定講習部会 令和7年度 第1回、第2回部会議事録 .....	76
・ 教育支援委員会柔道整復師国家試験模擬試験部会 令和6年度 第2回部会議事録 .....	79
・ 広報・調査委員会 令和7年度 第1回委員会議事録 .....	82
・ 柔道委員会 令和7年度 第1回、第2回委員会議事録 .....	86
・ 組織運営委員会 令和6年度 第3回部会議事録 .....	90
【わが街の見どころ聞きどころ】	
・ 日本柔道整復専門学校 .....	92
【教員紹介リレー】	
・ 森ノ宮医療学園専門学校 葉山 直史 先生 .....	94
【各名簿】	
・ 正会員一覧、学校理事長・校長・正会員名簿、賛助会員名簿、委員（部）会員名簿 .....	100
・ 編集後記 .....	109
・ 学校協会案内図	



## 第67回 教員研修会について



教員研修会実行委員会  
委員長 葉山 直史

令和7年度第67回教員研修会を下記のプログラムの通り、9月27日（土）、28日（日）に福岡国際会議場にて開催いたします。

今回の教員研修会は会員校が主幹して開催する主幹校制から、教員研修会実行委員会が主幹して開催する初めての大会となります。本委員会は年毎に開催地近隣の養成校に協力をお願いして委員を選出して構成します。本年度は喜多村伸明先生（福岡医療専門学校）、湊谷知幹先生（福岡医健スポーツ専門学校）、小川勝先生（福岡天神医療リハビリ専門学校）、徳安琢磨先生（九州医療専門学校）にお引き受けいただきました。

研修内容についても昨年実施した会員校へのアンケートにおいて要望のあった「柔整ブランディング」、「魅力の伝承」、「教育機関と臨床現場の融合を目指して」をテーマに、講演やパネルディスカッションの準備を進めるとともに、教員の研究発表を20数年ぶりに主会場で行うほか、出展企業様による講演など、新たな試みを予定しています。

全国柔道整復学校協会ホームページをご確認の上、ぜひご参加いただきますようお願い申し上げます。

開催にあたり各校の格別のご高配、ご協力をお願い申し上げ、多くの先生のご参加をお待ちしています。

なお、会場の都合上、今回はスクール形式ではなく、シアター形式の座席となる予定です。大きめの荷物はクロークにお預けいただき着席いただければ幸いです。

# 令和7年 第67回 教員研修会プログラム

メインテーマ：『柔道整復の新時代へ』

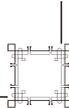
福岡国際会議場

●研修会		1日目	令和7年9月27日(土)
12:00	◆受付開始		敬称略
12:30	◆開会式(30分)		
	・開会の辞	公益社団法人 全国柔道整復学校協会	担当理事 伊藤 譲
	・会長挨拶	公益社団法人 全国柔道整復学校協会	会長 谷口 和彦
	・来賓祝辞	公益財団法人 柔道整復研修試験財団	代表理事 今別府 敏雄(予定)
	・来賓祝辞	公益社団法人 日本柔道整復師会	会長 長尾 淳彦(予定)
	・来賓祝辞	一般社団法人 日本柔道整復接骨医学会	会長 安田 秀喜(予定)
	・来賓祝辞	一般社団法人 柔道整復教育評価機構	理事長 関口 正雄
13:00	・役員紹介		
13:10	◆講演1(70分)	『学科長のマネジメント”学校の命運は学科長が握っている”』	会場:5階 国際会議室501
		公益社団法人 全国柔道整復学校協会 副会長 関口 正雄	
14:20		座長:公益社団法人 全国柔道整復学校協会 会長 谷口 和彦	
休憩(10分)			
14:30	◆講演2(60分)	『柔整ブランディング』 パネルディスカッション	会場:5階 国際会議室501
		学校法人滋慶学園 福岡医健・スポーツ専門学校 副校長・学科長 湊谷 知幹	
		学校法人松正学園 専門学校沖縄統合医療学院 学科長 川満 亘	
		学校法人国際志学園 九州医療スポーツ専門学校 学科長 社 由洋	
15:30		座長:日本体育大学 保健医療学部 整復医療学科 教授 伊藤 譲	
休憩(10分)			
15:40	◆研究助成発表(40分)	『筋腫移行部損傷の修復過程の組織学的解析』	会場:5階 国際会議室501
		学校法人森ノ宮医療学園 森ノ宮医療学園専門学校 馬場 裕介	
		『育成年代の競技者における睡眠を中心とした生活習慣と月経症状が外傷発生に及ぼす影響』	
		日本体育大学 祁答院 隼人	
16:20		座長:公益社団法人 全国柔道整復学校協会 教員研修会 実行委員長 葉山 直史	
休憩(20分)			
16:40	◆出展企業講演(50分)		
	第1テーマ	『国家試験合格を科学する ～模擬試験データが語る合否の分かれ道～ (模擬データの活用法、不合格者の傾向分析、合格への道筋の見える化)』	会場:5階 国際会議室501
		株式会社ジャパン国試合格 代表取締役 三田 利幸	
	第2テーマ	『日本の医療シミュレーション教育の25年と現在の柔整向けシミュレーター』	会場:5階 502
		日本ライトサービス株式会社 代表取締役 馬場 博	
	第3テーマ	『ファシアアプローチとしてのフロッシング:そのエビデンスと教育的意義』	会場:5階 503
17:30		株式会社サント・ジャパン 学術部 マネージャー 梶原 規寛	
●懇親会 受付18:00～ 会場:福岡サンパレスホテル&ホール			
18:15	・開会挨拶	第67回教員研修会 実行委員会	副委員長 桑野 幸仁
	・乾杯	公益社団法人 福岡県柔道整復師会	会長 塩川 哲也
20:00	・中締め	公益社団法人 全国柔道整復学校協会	監事 米田 忠正

●研修会		2 日目	令和7年9月28日(日)
9:00	◆講演3(60分)	『魅力の伝承 ～柔道整復師～』 学校法人国際志学園 理事長 水嶋 章陽 座長：学校法人国際志学園 九州医療スポーツ専門学校 教務部長 桑野 幸仁	会場：5階 国際会議室501
	◆講演4(60分)	『教育機関と臨床現場の融合を目指して』 ～第5中足骨骨折の事例、健康保険法87条も踏まえた療養費、 その他単純ならざる骨折の取り扱い事例～ はしぐち整骨院 院長 / 環太平洋大学 特任講師 橋口 浩治 座長：学校法人都築学園 福岡天神医療リハビリ専門学校 柔道整復学科 学科長 小川 勝	会場：5階 503
10:00	休憩(10分)		
10:10	◆教育講演 (60分)	『高齢者に対するエクササイズ介入の効果』 鹿屋体育大学 スポーツ生命科学系 教授 藤田 英二 座長：学校法人福岡医療学院 福岡医療専門学校 柔道整復科 学科長 喜多村 伸明	会場：5階 国際会議室501
11:10	休憩(10分)		
11:20	◆協会報告 (30分)	『カリキュラム』(仮) 公益社団法人 全国柔道整復学校協会 理事 齊藤 秀樹 『第三者評価』(仮) 『留学生受入れ』(仮)	会場：5階 国際会議室501
11:50		公益社団法人 全国柔道整復学校協会 副会長 関口 正雄	
11:55	◆閉会式(15分)		
12:10	・次年度研修会案内 ・閉会の辞	公益社団法人 全国柔道整復学校協会 教員研修等部会 公益社団法人 全国柔道整復学校協会	部会長 葉山 直史 副会長 関口 正雄



## 令和7年度 学校運営改善等助成事業の 交付決定状況について



教育支援委員会 教員研修等部会  
部会長 葉山 直史

本事業は、平成22年度に「柔道整復師の養成施設において、柔道整復の振興と柔道整復師の教育の充実を図るため、教員研修のための研究事業に要する経費の一部を助成する」ことを目的に始まりました。その後、学校協会の公益社団法人への移行に伴い会員校以外（短大・大学含む）にも対象を広げ、これまで多くの柔道整復教員の研究活動を助成してまいりました。

今年度からは、学校年度（4月～翌年3月）に合わせ研究活動を行いやすくするために「募集期間」と「研究期間」を変更しました。「研究分野」についても教員研修等部会で実施した「研究助成における研究分野の希望調査」の結果をもとに変更し、それに伴い「助成金の交付金額及び使途」についても見直しを行いました。

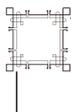
交付決定状況ですが、4件の申請をいただき、2月13日の教員研修等部会（研究助成事業審査）を経て、3月12日の研究助成審査委員会において慎重かつ厳正な審査を行い、以下の研究課題に対し、それぞれ交付金額を決定しました。

- ・「柔道整復師養成校における入学者選抜と入学後初期の学力支援に関する研究課題」5,000円
- ・「柔道整復師養成教育の専門科目における反転授業が学習意欲、自己効力感、および学業成績に与える影響：アンケート調査と成績データによる分析」65,000円
- ・「3年制・4年制柔道整復師養成施設学生の学修意欲の経時的変化の調査：柔道整復師資格取得のモチベーション向上を目的として」194,700円
- ・「柔道整復師養成教育における新たな柔道実技プログラムの作成について」91,000円

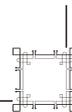
この結果を会長に答申し、承認されて、交付決定の運びとなりました。

交付を受けられた研究代表者におかれましては、令和8年度教員研修会においてその研究成果を発表していただくことになっております。

本事業が引き続き柔道整復教育の課題解決、教育の質の向上、教員の資質向上ひいては柔道整復の発展に寄与することを願っております。各養成施設の皆様には、なお一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## 令和7年度 組織運営委員会 第1回 研修会報告



組織運営委員会

理事 田中 雅博

委員長 辻井 宏昭

令和7年6月5日（木）、組織運営委員会主催の第1回研修会を開催いたしました。

最初に、会長谷口和彦先生よりご挨拶をいただいた後、特別講演をテーマ「医療職教育における実習の現状と課題 - 柔道整復師教育への示唆 -」として、一般社団法人科学・政策と社会研究室代表の榎木英介氏に「医療職の実習教育が抱える課題」について、医療系他職種や諸外国の教育制度との比較も取り入れ、お話をいただきました。

また、委員長（辻井）からは「外部施設における臨床実習授業の一例」として、実際に行っている外部実習の実施にむけた取組の説明がありました。

なお、今回の研修会は、本委員会としては初めてのZOOMによるオンラインセミナー形式での開催で、41名（内、会員校より30名）の先生方に参加いただき、研修会後のアンケートでも「視聴しやすかった」との回答が多く、今後の開催に向けても有意義なものとなったのではないかと思います。

最後に、本研修会開催に当たりご協力いただきました会長並びに理事の皆様、また事務局の方々に心よりお礼申し上げます。

# 第1回 研修会 終了後アンケート結果 報告

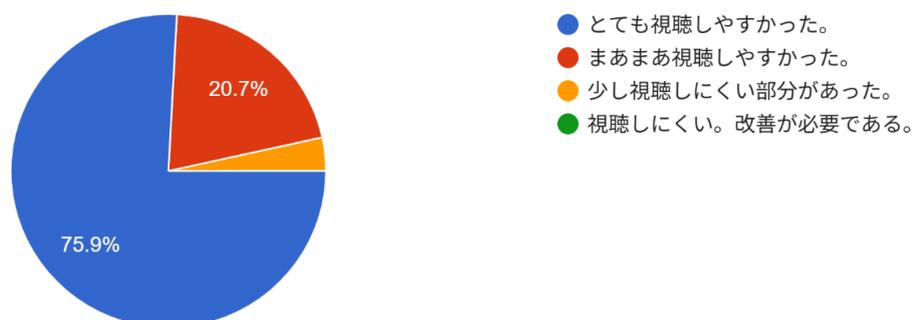
組織運営委員会

## ○実施概要

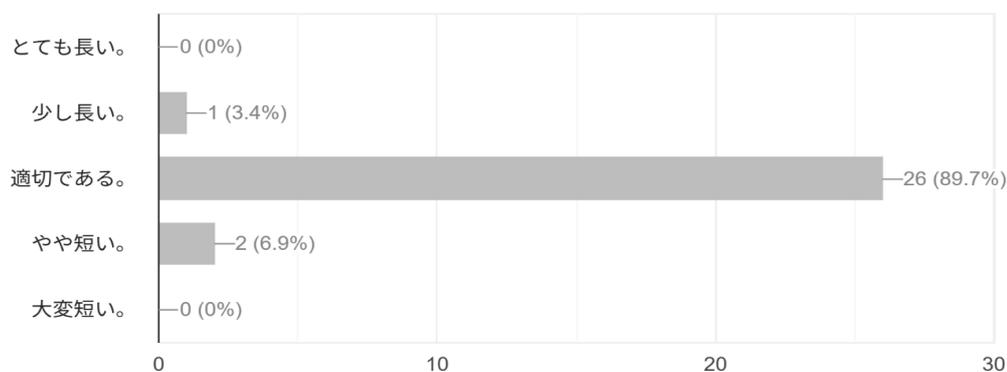
- 対象：研修会参加者（30名、学校協会役員等は除く）
- 時期：2025年 6月5日～6月13日
- 方法：Googleフォームによるインターネット調査
- 回答：29名（97%）

## ○アンケート結果

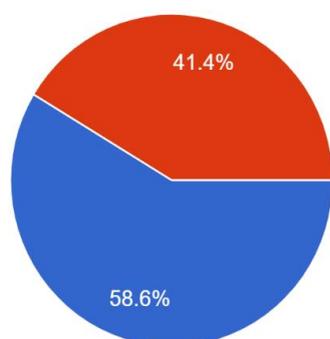
### ・質問1 ZOOMによるオンライン形式について



### ・質問2 研修会全体の時間について

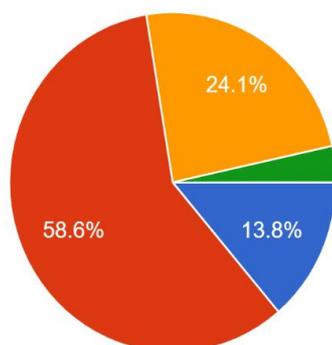


・質問3 研修会のテーマ「臨床実習の現状と課題」について



- 大変満足している。
- まあまあ満足している。
- やや不満である。
- とても不満である。

・質問4 次回研修会に希望するテーマについて



- 遠隔授業について
- 広報(学生募集)戦略について
- 国家試験対策の取り組みについて
- その他

・質問5 上記質問でその他を選んだ方は希望する内容を記載してください。

2件記述あり。

- ・ 1件 現行のカリキュラムについて
- ・ 1件 研修会についての意見として、スライド資料があればわかりやすい。

# 公益社団法人 全国柔道整復学校協会

## 令和7年度 定時総会議事録

1. 開催日 令和7年6月20日（金）15：00～15：25
2. 会場 浜松町コンベンションホール大会議室A  
東京都港区浜松町二丁目3番1号日本生命浜松町クレアタワー6階  
電話 03-6432-4075
3. 定足数算定の基礎となる正会員数 43名

#### 4. 出席者

##### (1) 理事（正会員） 7名

谷口 和彦	明治東洋医学院専門学校	関口 正雄	東京メディカル・スポーツ専門学校
齊藤 秀樹	大宮呉竹医療専門学校	奥田 久幸	日本医専
廣岡 聡	関西医療学園専門学校	田中 雅博	履正社国際医療スポーツ専門学校
大麻 正晴	四国医療専門学校		

##### (2) 理事（非正会員） 1名

伊藤 譲	日本体育大学保健医療学部
------	--------------

##### (3) 監事（正会員） 1名

米田 忠正	米田柔整専門学校
-------	----------

##### (4) 正会員 10名

高山 訓正	北海道柔道整復専門学校	松岡 靖	MCL盛岡医療大学校
平澤 淳	大川学園医療福祉専門学校	村上 哲二	東京呉竹医療専門学校
永野 修	新宿医療専門学校	瀧 将仁	アルファ医療福祉専門学校
殿村 康一	東京医療福祉専門学校	鈴木 康仁	専門学校浜松医療学院
清水 洋二	中和医療専門学校	鈴木 信司	専門学校沖縄統合医療学院

(5) 委任状提出者 25名

島谷 夕美	仙台接骨医療専門学校	坂本 正憲	仙台赤門医療専門学校
岸野 雅方	福島医療専門学校	中島 利郎	中央スポーツ医療専門学校
櫻井 康司	日本柔道整復専門学校	桑原 淳	スポーツ健康医療専門学校
千葉 茂	日本工学院八王子専門学校	増田 哲也	日本健康医療専門学校
福井 次矢	関東柔道整復専門学校	田中 秀和	横浜呉竹医療専門学校
竹本 雅信	名古屋医健スポーツ専門学校	竹本 雅信	京都医健専門学校
北野 吉廣	平成医療学園専門学校	清水 尚道	森ノ宮医療学園専門学校
小林 英建	近畿医療専門学校	古谷 圭司	東洋医療専門学校
岡田 典世	関西健康科学専門学校	津島 伸章	朝日医療大学校
川端 一弘	IGL医療福祉専門学校	水野 晋悟	河原医療福祉専門学校
藤瀬 武	福岡医療専門学校	古谷野 潔	福岡医健・スポーツ専門学校
大川 照明	福岡天神医療リハビリ専門学校	水嶋 章陽	九州医療スポーツ専門学校
門司 誠一	九州医療専門学校		

5. 議 長 正会員 村上 哲二（東京呉竹医療専門学校）

6. 議事次第

審議事項

議案 令和6年度決算報告書案の承認の件

7. 会議の概要

(1) 開会

議事に先立ち、進行役を務める事務局長より、定時総会の開会宣言の後、本総会の正会員出席者は18名、欠席者は25名、ただし欠席者全員から委任状が提出され、定款第17条に基づく総正会員の議決権の過半数（22名）以上であり、本総会は適法に成立していると報告。

続いて、谷口会長が挨拶を行った。

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

事務局長が、定款第15条に基づく議長の選出について総会に諮ったところ、司会者一任とされたことから、司会者は東京呉竹医療専門学校の村上哲二正会員を指名、総会は異議なく賛成し、村上正会員も議長就任を承諾した。

続いて議長より、定款第18条第2項の規定に基づき、総会に出席した正会員より選出される議事録署名人2名の選出について本総会に諮ったところ、議長一任とされたことから、新宿医療専門学校の永野修正会員と東京医療福祉専門学校の殿村康

一正会員の両名を指名し、本総会は2名の議事録署名人を承認、両正会員も就任を承諾した。

#### 審議事項

議案 令和6年度決算報告書案の承認の件

上記議案について、議長から事務局に対し説明を行うよう求め、事務局長は資料1に基づき、最初に審議対象外の「令和6年度事業報告」及び「令和6年度監査報告」を関連事項として説明した後、「令和6年度決算報告書案」について説明。

引き続き議長は、監事に対し監査報告について発言を求め、米田忠正、清水尚道両監事が令和6年4月1日から令和7年3月31日までの事業年度の関係諸表を確認したところ、適正だったことを報告。

議長は、質疑に入ることを告げ、質問及び意見を求めたが発言がないことから採決を行うことを告げ、その結果、全員異議なく、原案のとおり承認された。

議事に対する審議を終了し、議長が閉会を宣言して令和7年度定時総会を終了した。

本総会の議事経過の概要を記載、その内容を明確にするため、議長及び議事録署名人2名が記名押印する。

令和7年6月20日

議長 村上哲二 印

議事録署名人 永野修 印

議事録署名人 殿村康一 印

公益社団法人 全国柔道整復学校協会  
令和7年度定時総会、会員協議会 次第

令和7年6月20日（金）  
15：00～16：30  
浜松町コンベンションホール  
大会議室A（6階）

## 1. 定時総会

- (1) 開会
- (2) 会長挨拶
- (3) 議長選出
- (4) 議事録署名人選出
- (5) 議事

### 決議事項

議案 「令和6年度決算報告書案の承認」の件 … 資料1

- (6) 閉会

## 2. 会員協議会

- (1) 各委員会、関連団体等報告
  - 1) 各委員会 … 資料2
  - 2) 関連団体等 … 資料3
- (2) その他

令和6年度定時総会

(5) 議事

決議事項

議案

「令和6年度決算報告書案の承認」の件

# 令和6年度事業報告書

自 令和6年4月 1日  
至 令和7年3月31日



公益社団法人 全国柔道整復学校協会

第1 会務報告

令和6年度 公益社団法人全国柔道整復学校協会役員の運営体制	
役員	会長 谷口 和彦 副会長 関口 正雄 理事 齊藤 秀樹、奥田 久幸、廣岡 聡、田中 雅博 大麻 正晴、水嶋 章陽、伊藤 譲 監事 米田 忠正、清水 尚道
顧問	櫻井 康司、坂本 歩、武田 秀孝、坂本 正憲

委員(部)会名	担当理事	委員(部会)長・副委員(部会)長
常設委員会		
教育支援委員会		
教科書部会	齊藤 秀樹	部会長 三澤 圭吾(明治東洋医学院) 副部会長 村澤 幸弘(大宮呉竹)
教員研修等部会	伊藤 譲 水嶋 章陽	部会長 葉山 直史(森ノ宮医療学園) 副部会長 桑野 幸仁(九州医療スポーツ)
専科教員認定講習部会	奥田 久幸 伊藤 譲	部会長 川口 央修(大宮呉竹) 副部会長 北野 吉廣(平成医療学園)
柔道整復師国家試験模擬試験部会	齊藤 秀樹	部会長 杉山 直人(東京呉竹) 副部会長 秋津 知宏(明治東洋医学院)
広報・調査委員会	大麻 正晴	委員長 廣木 智(東京呉竹) 副委員長 鹿庭 祥平(四国医療)
柔道委員会	廣岡 聡	委員長 早川 幸秀(東京呉竹) 副委員長 湊谷 知幹(福岡医健)
組織運営委員会	田中 雅博	委員長 辻井 宏昭(履正社国際医療) 副委員長 伊藤 浩二(東京医療福祉)

兼 職	公益財団法人柔道整復研修試験財団	評議員 谷口 和彦 業務執行理事 関口 正雄 理事 大麻 正晴
	一般社団法人日本柔道接整復骨医学会	副会長 坂本 歩
	一般社団法人柔道整復教育評価機構	理事長 関口 正雄 理事 齊藤 秀樹 監事 米田 忠正 監事 清水 尚道

行事開催年月日	行 事 内 容 等
令和6年	
4月 1日 (月)	会員校入学式に会長名祝電(43校)
4日 (木)	柔道整復師学校養成施設カリキュラム次期改訂に向けた検討作業部会:学校協会等
10日 (水)	教育支援委員会専科教員認定講習部会 第1回会議:学校協会等
15日 (月)	教育支援委員会専科教員認定講習部会 第2回会議:学校協会
16日 (火)	広報・調査委員会 第1回会議:学校協会等
18日 (木)	柔道整復師学校養成施設カリキュラム次期改訂に向けた検討作業部会:学校協会等
19日 (金)	厚生労働省医政局医事課との打合せ(カリキュラム次期改訂):厚生労働省
19日 (金)	第1回理事会:学校協会等
23日 (火)	教育支援委員会教科書部会(解剖学、外科学)第1回会議:学校協会等
25日 (木)	柔道委員会 第1回会議:学校協会
5月 10日 (金)	会計監査(令和5年度):学校協会
12日 (日)	専科教員認定講習会受講試験:東京医療福祉専門学校、平成医療学園専門学校
14日 (火)	教科書部会担当理事、正副部会長が監修教科書改訂の件で医歯薬出版(株)
14日 (火)	教科書部会担当理事、正副部会長が監修教科書改訂の件で訪問(株)南江堂訪問
14日 (火)	教育支援委員会専科教員認定講習部会 第3回会議:学校協会
15日 (水)	専科教員認定講習会受講試験合格発表:学校協会HP
16日 (木)	柔道整復師学校養成施設カリキュラム次期改訂に向けた検討作業部会:学校協会等
17日 (金)	全国柔道整復師統合協議会との意見交換:学校協会
17日 (金)	第2回理事会:学校協会等
23日 (木)	教育支援委員会教員研修等部会 第1回会議:学校協会
27日 (月)	柔道整復師学校養成施設カリキュラム次期改訂に向けた検討作業部会:学校協会等
29日 (水)	教育支援委員会柔道整復師国家試験模擬試験部会 第1回会議:学校協会等
31日 (金)	柔道整復師学校養成施設カリキュラム次期改訂に向けた検討作業部会:学校協会等
6月 1日 (土)	専科教員認定講習会東日本会場開講式:日本柔道整復専門学校
6日 (木)	厚生労働省医政局医事課との打合せ(カリキュラム次期改訂):厚生労働省
7日 (金)	柔道委員会 第2回会議:学校協会
8日 (土)	臨床実習指導者講習会:東京呉竹医療専門学校(～6月9日(日))
15日 (土)	専科教員認定講習会西日本会場開講式:平成医療学園専門学校
20日 (木)	教育支援委員会教員研修等部会 第2回会議:学校協会等
21日 (金)	第3、4回理事会:浜松町コンベンションホール
21日 (金)	定時総会、会員協議会:浜松町コンベンションホール
24日 (月)	柔道整復師学校養成施設カリキュラム次期改訂に向けた検討作業部会:学校協会等
25日 (火)	柔道委員会 第3回会議:学校協会
7月 1日 (月)	柔道整復師学校養成施設カリキュラム次期改訂に向けた検討作業部会:学校協会等
4日 (木)	日本柔道整復師会会長との打合せ:日整会館
10日 (水)	柔道整復師学校養成施設カリキュラム次期改訂に向けた検討作業部会:学校協会等

行事開催年月日	行 事 内 容 等
7月 16日 (火) 19日 (金) 25日 (木) 26日 (金) 30日 (火)	広報・調査委員会 第2回会議:学校協会等 第5回理事会:学校協会等 教育支援委員会教員研修等部会 第3回会議:学校協会等 柔道整復師学校養成施設カリキュラム次期改訂に向けた検討作業部会:学校協会等 柔道委員会 第4回会議:学校協会 厚生労働省医政局医事課との打合せ(カリキュラム次期改訂):厚生労働省
8月 2日 (金) 4日 (日) 6日 (火) 7日 (水) 23日 (金)	令和6年度学校運営改善等事業研究助成審査委員会:学校協会等 臨床実習指導者講習会:京都医健専門学校(、8月11日(日)) 第57回 柔道大会:東京武道館 教育支援委員会教科書部会 第2回会議:学校協会等 第6回理事会:学校協会等
9月 3日 (火) 6日 (金) 9日 (月) 12日 (木) 20日 (金) 21日 (土) 23日 (月) 25日 (水) 27日 (金) 28日 (土)	厚生労働省医政局医事課との打合せ(カリキュラム次期改訂):学校協会 柔道整復師学校養成施設カリキュラム次期改訂に向けた検討作業部会:学校協会等 柔道委員会 第5回会議:学校協会 教育支援委員会専科教員認定講習部会 第4回会議:学校協会 日本柔道整復師会会長との打合せ:日整会館 第7回理事会:学校協会等 第66回教員研修会:東京保健医療専門職大学(～9月22日(日・祝)) 専科教員認定講習会東日本会場修了試験:日本柔道整復専門学校 教育支援委員会専科教員認定講習部会 第5回会議:学校協会 全国柔道整復師統合協議会との意見交換:学校協会 臨床実習指導者講習会:大川学園医療福祉専門学校(～9月29日(日))
10月 3日 (木) 5日 (土) 12日 (土) 13日 (日) 15日 (火) 16日 (水) 17日 (木) 26日 (土) 31日 (木)	柔道整復師学校養成施設カリキュラム次期改訂に向けた検討作業部会:学校協会等 臨床実習指導者講習会:九州医療スポーツ専門学校(～10月6日(日)) 専科教員認定講習会東日本会場閉講式:日本柔道整復専門学校 専科教員認定講習会西日本会場修了試験:平成医療学園専門学校 臨床実習指導者講習会:四国医療専門学校(～10月14日(月・祝)) 臨床実習指導者講習会:日本工学院八王子専門学校(～10月14日(月・祝)) 広報・調査委員会 第3回会議:学校協会等 教育支援委員会専科教員認定講習部会 第6回会議:学校協会 第8回理事会:ダブルツリーbyヒルトン富山(富山市)等 専科教員認定講習会西日本会場閉講式:平成医療学園専門学校 教育支援委員会柔道整復師国家試験模擬試験部会データ処理小委員会:学校協会
11月 6日 (水) 11日 (月)	厚生労働省医政局医事課との打合せ(カリキュラム次期改訂):厚生労働省 教育支援委員会専科教員認定講習部会 第7回会議:学校協会等 全国柔道整復学校協会統一模擬試験の実施(～12月1日(日))

行事開催年月日	行 事 内 容 等
11月 13日 (水)	柔道整復師学校養成施設カリキュラム次期改訂に向けた検討作業部会:学校協会等
15日 (金)	第9回理事会:学校協会等
21日 (木)	柔道整復師学校養成施設カリキュラム次期改訂に向けた検討作業部会:学校協会等
26日 (火)	柔道整復学教育モデル・コア・カリキュラム策定作業部会:学校協会等
12月 9日 (月)	柔道整復師学校養成施設カリキュラム次期改訂に向けた検討作業部会:学校協会等
12日 (木)	教育支援委員会教科書部会 第3回会議:学校協会等
14日 (土)	臨床実習指導者講習会:東京メディカル・スポーツ専門学校(～12月15日(日))
16日 (月)	専科教員認定講習会主幹校協力校担当国会議(東日本会場):学校協会 専科教員認定講習会主幹校協力校担当国会議(西日本会場):明治東洋医学院専門学校
19日 (木)	柔道整復師学校養成施設カリキュラム次期改訂に向けた検討作業部会:学校協会等
20日 (金)	厚生労働省医政局医事課との打合せ(カリキュラム次期改訂):厚生労働省 第10回理事会:学校協会等
令和7年	
1月 14日 (火)	柔道整復学教育モデル・コア・カリキュラム策定作業部会:学校協会等 教育支援委員会専科教員認定講習部会 第8回会議:学校協会 専科教員認定講習会主幹校協力校担当国会議(東日本会場):学校協会
17日 (金)	第11回理事会:学校協会等
19日 (日)	臨床実習指導者講習会:専門学校浜松医療学院(、1月26日(日))
21日 (火)	広報・調査委員会 第4回会議:学校協会等
2月 2日 (日)	臨床実習指導者講習会:福岡医健・スポーツ専門学校(、2月9日(日))
6日 (木)	教育支援委員会専科教員認定講習部会 第9回会議:学校協会
12日 (水)	組織運営委員会 第2回会議:学校協会等 教育支援委員会教員研修等部会 第4回会議:学校協会等
13日 (木)	教育支援委員会教員研修等部会 第5回会議:学校協会等
20日 (木)	厚生労働省医政局医事課との打合せ(カリキュラム次期改訂):学校協会
21日 (金)	第12回理事会:学校協会等
3月 2日 (日)	第33回柔道整復師国家試験期日
3日 (月)	会員校卒業式に会長名祝電(43校)
5日 (水)	第33回柔道整復師国家試験疑義問題検討会:学校協会
6日 (木)	第33回柔道整復師国家試験疑義問題に関する要望書提出:柔道整復研修試験財団
12日 (水)	令和7年度学校運営改善等事業研究助成審査委員会:学校協会等
21日 (金)	第13回理事会、会員協議会:浜松町コンベンションホール
24日 (月)	教育支援委員会教科書部会 第4回会議:東京呉竹医療専門学校(～25日(火))
25日 (火)	教育支援委員会柔道整復師国家試験模擬試験部会 第2回会議:学校協会等
26日 (水)	第33回柔道整復師国家試験合格発表
28日 (金)	組織運営委員会 第3回会議:学校協会等

## 第2 会議等

### (1)総会

	開催日時・場所	議事内容等	出席状況
定時総会	令和6年6月21日(金) 14:30～15:30 浜松町コンベンションホール 東京都港区浜松町2-3-1 日本生命浜松町クリアタワー6階	(議案) 1.「令和5年度決算報告書案の承認」の件 2.「役員を選任」の件	理事8名(内正会員7名) 監事2名(内正会員2名) 正会員14名 委任状20名

### (2)会員協議会

	開催日時・場所	内 容
第1回	令和6年6月21日(金) 定時総会終了後	1.報告事項 1)各委員会 2)関連団体等
第2回	令和7年3月21日(金) 14:30～16:20 東京都港区浜松町2-3-1 日本生命浜松町クリアタワー5階	1.報告事項 1)次期カリキュラム改訂に向けた検討の件 2)第33回柔道整復師国家試験問題に関する意見書の件 3)令和7年度事業計画、収支予算の件 4)各委員会 5)関係団体 6)その他

### (3)理事会

	開催日時・場所	議事内容等	出席状況
第1回理事会	令和6年4月19日(金) 14:00～16:00 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	(議案) 1.次期カリキュラム改訂に向けた検討の件 2.専科教員認定講習会の実務経験年数計算方法の件 3.今年度教員研修会の本部主催講演内容の件 4.今後の教員研修会主幹校の件 5.嘉納治五郎アニメ「柔の道」後援と協賛の件 6.委員会委員人事の件 7.その他 (報告事項) 1.代表理事の職務執行報告及び行事予定 2.各委員会 3.関連団体 4.その他	理事 8名 監事 2名

	開催日時・場所	議事内容等	出席状況
第2回理事会	令和6年5月17日(金) 14:00～16:00 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	(議案) 1.令和5年度事業報告書の承認の件 2.令和5年度決算報告書案の件 3.定時総会の開催の件 4.第57回柔道大会に向けての変更及び検討事項の件 5.委員会委員人事の件 6.次期カリキュラム改訂に向けた検討の件 (報告事項) 1.代表理事の職務執行報告及び行事予定 2.各委員会 3.関連団体 4.その他	理事 8名 監事 2名
第3回理事会	令和6年6月21日(金) 12:00～13:30 浜松町コンベンションホール 東京都港区浜松町2-3-1 日本生命浜松町クレアタワー	(議案) 1.定時総会の運営の件 2.次期カリキュラム改訂に向けた検討の件 3.第66回教員研修会プログラム案の件 4.令和6年度厚生労働省科学研究費に関する調査等協力の件 (報告事項) 1.代表理事の職務執行報告及び行事予定 2.その他	理事 8名 監事 2名
第4回理事会	令和6年6月21日(金) 16:30～16:45 浜松町コンベンションホール 東京都港区浜松町2-3-1 日本生命浜松町クレアタワー	(議案) 1.会長及び副会長の選任の件 2.各委員会担当理事の選任の件 3.顧問の委嘱の件	理事 8名 監事 2名
第5回理事会	令和6年7月19日(金) 14:00～16:00 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	(議案) 1.次期カリキュラム改訂に向けた検討の件 2.今後の教員研修会運営の件 3.委員会担当理事選任の件 4.委員会委員の人事の件 5.学校運営改善等助成事業の助成対象分野を追加する件 (報告事項) 1.代表理事の職務執行報告及び行事予定 2.各委員会 3.関連団体	理事 9名 監事 2名

	開催日時・場所	議事内容等	出席状況
第6回理事会	令和6年8月23日(金) 14:00～15:30 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	(議案) 1.次期カリキュラム改訂に向けた検討の件 2.柔道整復師国家試験模擬試験部会の件 3.学校運営改善等助成事業(研究助成)の件 4.「学校運営・教育の改善・向上を支援する事業」を設ける件 (報告事項) 1.代表理事の職務執行報告及び行事予定 2.各委員会 3.関連団体	理事 9名 監事 2名
第7回理事会	令和6年9月20日(金) 14:00～16:00 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	(議案) 1.次期カリキュラム改訂に向けた検討の件 2.2025年 第67回 教員研修会の件 (報告事項) 1.代表理事の職務執行報告及び行事予定 2.各委員会 3.関連団体	理事 9名 監事 2名
第8回理事会	令和6年10月17日(木) 15:00～17:00 ダブルツリーbyヒルトン富山 (Zoom併用) 富山市新富町1-1-10	(議案) 1.次期カリキュラム改訂に向けた検討の件 2.令和6年度 事業計画の変更及び補正予算の件 3.特定資産運用の件 4.今年度(下半期)理事会等開催日程の件 (報告事項) 1.代表理事の職務執行報告及び行事予定 2.各委員会 3.関連団体 4.その他	理事 9名 監事 2名
第9回理事会	令和6年11月15日(金) 14:00～16:00 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	(議案) 1.次期カリキュラム改訂に向けた検討の件 2.令和7年度 学校運営改善等助成事業(研究助成)の件 3.国家試験模擬試験事業の公益事業化の件 4.専科教員認定講習会の件 5.特定資産運用の件 (報告事項) 1.代表理事の職務執行報告及び行事予定 2.各委員会 3.関連団体	理事 9名 監事 2名

	開催日時・場所	議事内容等	出席状況
第10回理事会	令和6年12月20日(金) 14:00～16:00 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	(議案) 1.次期カリキュラム改訂に向けた検討の件 2.外国人留学生の受入促進の件 3.第67回 教員研修会の件 4.遠隔授業等に関する研究の件 5.学校協会監修テキスト電子版出版社からの提案の件 6.学校運営・教育の改善・向上支援事業の件 7.国家試験模擬試験事業の収益事業化の件 (報告事項) 1.代表理事の職務執行報告及び行事予定 2.各委員会 3.関連団体 4.その他	理事 8名 監事 2名
第11回理事会	令和7年1月17日(金) 14:00～16:00 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	(議案) 1.委員会委員人事の件 2.令和7年度 理事会等開催日程の件 3.非会員校の協会加入促進の件 4.その他 (報告事項) 1.代表理事の職務執行報告及び行事予定 2.各委員会 3.関連団体 4.その他	理事 9名 監事 2名
第12回理事会	令和7年2月21日(金) 14:00～16:00 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	(議案) 1.次期カリキュラム改訂に向けた検討の件 2.柔道整復師専科教員認定講習会受講試験実施要項の件 3.第67回 教員研修会の件 4.令和6年度学校運営・教育の改善・向上支援事業支援金の件 5.令和7年度 事業計画、収支予算の件 6.会員協議会等開催の件 7.その他 (報告事項) 1.代表理事の職務執行報告及び行事予定 2.各委員会 3.関連団体 4.その他	理事 9名 監事 2名

	開催日時・場所	議事内容等	出席状況
第13回理事会	令和7年3月21日(金) 13:00～13:35 浜松町コンベンションホール 東京都港区浜松町2-3-1 日本生命浜松町クレアタワー	(議案) 1.令和6年度 収支予算の件 2.その他 (報告事項) 1.代表理事の職務執行報告及び行事予定 2.各委員会等	理事 8名 監事 2名

(4)会計監査

谷口会長立ち合いの上、令和6年5月10日(金)に米田及び清水両監事による令和5年度会計監査を実施。

(5)第33回柔道整復師国家試験疑義問題検討会

開催日時・場所	検討事項等	出席状況
令和7年3月5日(水) 11:30～13:30 学校協会 東京都港区浜松町1-6-2	1.第33回柔道整復師国家試験における疑義問題に関する検討	谷口会長他5名

(6)柔道整復師学校養成施設カリキュラム次期改訂に向けた検討会議

①カリキュラム次期改訂に向けた検討作業部会

開催日時	場所	出席状況
・令和6年4月4日(木) 15:30～16:30	Zoom会議	谷口会長他4名
・令和6年4月18日(木) 14:25～15:30	学校協会(Zoom併用)	谷口会長他4名
・令和6年5月16日(木) 16:00～16:40	学校協会(Zoom併用)	谷口会長他4名
・令和6年5月27日(月) 9:30～9:50	Zoom会議	齊藤理事他3名
・令和6年5月31日(金) 13:30～13:45	Zoom会議	齊藤理事他3名
・令和6年6月24日(月) 14:00～14:40	Zoom会議	谷口会長他4名
・令和6年7月1日(月) 14:00～14:55	Zoom会議	谷口会長他4名
・令和6年7月10日(水) 14:00～14:55	Zoom会議	谷口会長他5名
・令和6年7月26日(金) 12:30～13:15	Zoom会議	谷口会長他5名
・令和6年9月6日(金) 14:00～15:20	Zoom会議	谷口会長他5名
・令和6年10月3日(木) 13:30～14:30	Zoom会議	齊藤理事他4名
・令和6年11月13日(水) 14:00～15:00	Zoom会議	谷口会長他4名
・令和6年11月21日(木) 15:00～15:55	Zoom会議	齊藤理事他4名
・令和6年12月9日(月) 13:00～14:00	Zoom会議	齊藤理事他4名
・令和6年12月16日(月) 13:00～13:30	Zoom会議	齊藤理事他4名
上記検討作業を行うとともに		
1. 学校協会会員に対するアンケートの実施		
・令和6年7月26日(金)	超音波観察装置の保有状況	
・令和6年9月24日(火)	改訂検討項目の現状確認	

2. 公益社団法人日本柔道整復師との打合せ

- ・令和6年7月4日(木)16:30～ (於:日本柔整会館、対応:谷口会長、齊藤理事)
- ・令和6年9月12日(木)16:00～ (於:日本柔整会館、対応:谷口会長、齊藤理事)

3. 厚生労働省医政局医事課との打合せ

- ・令和6年4月18日(木)16:00～ (於:厚生労働省、対応:谷口会長、関口副会長)
- ・令和6年6月6日(木)16:00～ (於:厚生労働省、対応:谷口会長、齊藤理事)
- ・令和6年7月30日(火)14:00～ (於:厚生労働省、対応:谷口会長、齊藤理事)
- ・令和6年9月3日(火)14:00～ (於:学校協会、対応:谷口会長、齊藤理事)
- ・令和6年11月6日(水)10:00～ (於:厚生労働省、対応:谷口会長、齊藤理事)
- ・令和6年12月19日(木)14:00～ (於:厚生労働省、対応:谷口会長、齊藤理事)
- ・令和7年2月20日(木)18:30～ (於:学校協会、対応:谷口会長、関口副会長、齊藤理事)

②柔道整復学教育モデル・コア・カリキュラム策定作業部会

開催日時・場所	検討事項等	出席状況
令和6年11月26日(火)15:00～15:40 Zoom会議	モデル・コア・カリキュラム策定作業	谷口会長他8名
令和7年1月14日(火)9:30～10:30 Zoom会議		伊藤理事他5名

### 第3 委員会

#### (1) 教育支援委員会教科書部会

開催日時・場所	検討事項等	出席状況
令和6年4月23日(火) 13:00～14:30 15:00～16:30 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	1.解剖学改訂小委員会 2.外科学改訂小委員会	理事1名 部員7名 部員7名
令和6年8月7日(水) 11:00～11:30 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	1.教科書改訂作業の中断について	谷口会長 理事1名 部員9名
令和6年12月12日(木) 14:00～15:00 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	1.柔道整復学・理論編の記載内容の確認及び修正について 2.動画内容の修正について 3.付録「関節可動域表示並びに測定法」の修正について 4.その他	理事1名 部員12名
令和7年3月24日(月) 令和7年3月25日(火) 9:00～17:00 東京呉竹医療専門学校 東京都新宿区四谷三栄町	1.柔道整復学・理論編の教科書掲載動画(検査法43本)を刷新するための撮影	谷口会長 理事1名 部員3名 他2名
<p>学校協会監修の教科書を維持していくことを前提とし改定作業を依頼。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月14日(火) 担当理事、正・副部会長が医歯薬出版株式会社を訪問(11:00～12:00)</li> <li>・5月14日(火) 担当理事、正・副部会長が株式会社南江堂を訪問(13:00～14:30)</li> </ul>		

#### (2) 教育支援委員会教員研修等部会

開催日時・場所	検討事項等	出席状況
令和6年5月23日(木) 14:00～16:00 学校協会 東京都港区浜松町1-6-2	1.2025年度以降の教員研修会主幹校選出について 2.その他	理事1名 部員2名
令和6年6月20日(木) 14:00～16:00 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	1.第66回(令和6年度)教員研修会について 2.第67回(令和7年度)以降の教員研修会について 3.その他	理事1名 部員5名
令和6年7月25日(木) 14:00～16:00 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	1.第66回(令和6年度)教員研修会について 2.令和6年度研究助成事業の審査について 3.その他	理事1名 部員7名

開催日時・場所	検討事項等	出席状況
令和7年2月12日(水) 9:30~10:30 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	1.教員研修会実行委員会について 2.第67回教員研修会について 3.その他	理事1名 部員2名
令和7年2月13日(木) 14:00~16:30 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	1.教員研修会実行委員会について 2.第67回教員研修会について 3.第68回教員研修会について 4.令和7年度研究助成事業の予備審査について 5.その他	理事1名 部員7名
<p>上記部会開催の他 学校運営改善等助成事業助成金に係る研究助成審査委員会を開催した。</p> <p><b>【令和6年度助成分】</b></p> <p>1.日 時 令和6年8月2日(金)14:00~15:20 2.場 所 学校協会(Zoom併用) 3.出席者 関口委員長他4名</p> <p><b>【令和7年度助成分】</b></p> <p>1.日 時 令和7年3月12日(水)13:00~14:30 2.場 所 学校協会(Zoom併用) 3.出席者 関口委員長他4名</p>		

(3)教育支援委員会専科教員認定講習部会

開催日時・場所	検討事項等	出席状況
令和6年4月10日(水) 14:00~15:00 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	1.令和6年度専科教員認定講習会受講願書の審査 2.実務従事及び経験年数の定義について 3.その他	理事2名 部会長、副部会長 部会員5名
令和6年4月15日(月) 14:00~16:00 学校協会 東京都港区浜松町1-6-2	1.受講試験問題の策定について 2.専科教員認定講習部会スケジュールの確認について 3.試験委員の人選について 4.その他	理事2名 部会長、副部会長
令和6年5月14日(火) 16:00~17:00 学校協会 東京都港区浜松町1-6-2	1.受講試験の可否判定について 2.その他	関口副会長 理事2名 部会長、副部会長
令和6年9月9日(月) 14:00~16:00 学校協会 東京都港区浜松町1-6-2	1.東京会場の修了試験問題及び追再試験問題について 2.大阪会場の修了試験問題及び追再試験問題について	理事1名 部会長、副部会長

開催日時・場所	検討事項等	出席状況
令和6年9月25日(水) 13:00～13:30 学校協会 東京都港区浜松町1-6-2	1.修了試験の正答率・識別係数でのチェック並びに合否判定について(東京会場) 2.専科教員認定講習部会のスケジュールの確認 3.その他	関口副会長 理事1名 部会長、副部会長
令和6年10月16日(水) 13:00～14:30 学校協会 東京都港区浜松町1-6-2	1.修了試験の正答率・識別係数でのチェック並びに合否判定について(大阪会場) 2.講習会アンケート集計作業担当者の選定 3.教育実習の期間設定に関する件 4.その他	関口副会長 理事2名 部会長、副部会長
令和6年11月11日(月) 14:00～15:30 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	1.次年度の各会場の主幹校・協力校の選定 2.講習会のアンケート集計作業担当者の選定 3.教育実習の期間設定に関する件 4.「受講対象B」の対応について 5.経費について 6.その他	理事2名 部会長、副部会長
令和7年1月14日(火) 14:00～15:00 学校協会 東京都港区浜松町1-6-2	1.次年度受講試験問題の作成割振りについて 2.その他	理事2名 部会長
令和7年2月6日(木) 14:30～15:30 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	1.専科教員認定講習会に係る実務従事証明の件 2.令和7年度専科教員認定講習会の厚労省指定申請事項の確認 3.その他	理事2名 部会長、副部会長

(4)教育支援委員会柔道整復師国家試験模擬試験部会

開催日時・場所	検討事項等	出席状況
令和6年5月29日(水) 14:00～15:30 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	1.令和6年度実施に向けた事前アンケート報告 2.令和6年度実施計画の検討 3.その他	理事1名 部員10名
令和7年3月25日(火) 11:00～12:00 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	1.令和6年度模擬試験実施後アンケート報告 2.令和7年度実施計画の検討 3.その他	谷口会長 理事1名 部員11名

上記部会開催の他、データ処理小委員会を開催した。

開催日時・場所	検討事項等	出席状況
令和6年10月31日(木) 13:00～14:30 学校協会 東京都港区浜松町1-6-2	1.令和6年度模擬試験実施後アンケート報告 2.令和7年度実施計画の検討 3.その他	理事1名 委員4名

- ①データ抽出作業部会  
令和6年11月27日(水)、12月2日(月)、5日(木)、9日(月)
- ②データ分析作業部会  
令和6年12月9日(月)、12日(木)、19日(木)

(5) 広報・調査委員会

開催日時・場所	検討事項等	出席状況
令和6年4月16日(火) 14:00～16:00 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	1. 前回委員会議事録の確認 2. 広報業務について 3. 調査業務について 4. その他	理事1名 委員8名
令和6年7月16日(火) 14:00～16:00 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	1. 前回委員会議事録の確認 2. 広報業務について 3. 調査業務について 4. その他	理事1名 委員8名
令和6年10月15日(火) 14:00～16:00 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	1. 前回委員会議事録の確認 2. 広報業務について 3. 調査業務について 4. その他	理事1名 委員6名
令和7年1月21日(火) 14:00～15:35 学校協会(Zoom会議) 東京都港区浜松町1-6-2	1. 前回委員会議事録の確認 2. 広報業務について 3. 調査業務について 4. その他	理事1名 委員7名

(6) 柔道委員会

開催日時・場所	検討事項等	出席状況
令和6年4月25日(木) 14:00～16:00 学校協会 東京都港区浜松町1-6-2	1. 大会形式について 2. 大会係員分担について 3. その他	理事1名 委員5名
令和6年6月7日(金) 14:00～16:00 学校協会 東京都港区浜松町1-6-2	1. 大会準備について 2. 大会運営について 3. その他	理事1名 委員6名
令和6年6月25日(火) 14:00～16:00 学校協会 東京都港区浜松町1-6-2	1. 組合せ抽選 2. 大会準備について 3. 大会運営について 4. その他	理事1名 委員4名

開催日時・場所	検討事項等	出席状況
令和6年7月30日(火) 14:00～16:00 学校協会 東京都港区浜松町1-6-2	1.大会準備について 2.大会運営について 3.その他	理事1名 委員6名
令和6年9月6日(金) 14:00～16:00 学校協会 東京都港区浜松町1-6-2	1.柔道大会反省事項 2.今後の検討課題について 3.次年度計画について 4.その他	理事1名 委員6名

(7)組織運営委員会

開催日時・場所	検討事項等	出席状況
令和6年6月26日(水) 13:30～15:00 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	1.会員校名簿の作成について 2.研修会の開催について 3.その他	理事1名 委員5名
令和7年2月12日(水) 13:30～15:00 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	1.研修会の開催について ① 開催テーマ及び講師の選出 ② 開催日時など	理事1名 委員6名
令和7年3月28日(金) 13:30～15:00 学校協会(Zoom併用) 東京都港区浜松町1-6-2	1.研修会の日程及び運営等について ① 開催日時 ② 研修内容及び運営方法 2.会員校名簿の作成について 3.その他	理事1名 委員6名

## I 公益事業

### 1. 「柔道整復師専科教員認定講習会を実施し、柔道整復師の知識の普及啓発と技術の向上に寄与する事業」

#### ○ 専科教員認定講習会

専科教員認定講習会は、柔道整復師学校養成施設指定規則(昭和47年文部省・厚生省令第2号)第2条第6号及び別表第2の規定に基づく厚生労働大臣指定の講習会であり、受講者は一定の教科について同講習会を修了した者には教員資格が与えられる。

平成14年度には、専科教員認定講習会の抜本的改正を施行して、受講試験及び修了試験等を実施することとし、更なる教員の資質の向上と計画性のある養成を図り今日に至っている。

その後、専科教員認定講習会のカリキュラムに係る、

- ・柔道整復師養成施設指定規則ならびに国家試験出題基準と合致していない。
- ・一般的な教育実習と専科教員認定講習会のカリキュラムの教育実習との実施方法にも乖離がある。
- ・次回のカリキュラム改定では履修時間数は上限(看護師を参考)と考えられるが、その時間内で最大4単位(PTの8単位を参考)までの臨床実習が組み込まれる可能性はある。
- ・コロナ禍の終息に見通しが立たない中で、対面形式の講義は実施が困難な可能性も鑑みて、専科教員認定講習会の実施にもWebなどを活用した方式や、グループワークの実施なども検討しておく必要がある。

等の問題点を解消するため、教育支援委員会専科教員認定講習部会でカリキュラム改正案を協議・構築し、理事会の議を経て令和3年度の講習会から実施することとなった。

令和6年度は、東日本会場(東京)及び西日本会場(大阪)の2か所で開催した。その実施概要は次のとおりである。

令和5年度専科教員認定講習会実施概要

区分	東日本会場(東京)	西日本会場(大阪)
1) 期間	自 令和6年 6月 1日(土) 至 令和6年10月12日(土)	自 令和6年 6月15日(土) 至 令和6年10月26日(土)
2) 時間	6月1日 14:00～20:00 土曜日 13:30～20:00 日曜日・祝祭日 9:30～16:40	6月15日 14:00～20:00 土曜日 13:30～20:00 日曜日・祝祭日 9:00～16:10
3) 主幹校	日本柔道整復専門学校 (協力校) 東京メディカル・スポーツ専門学校 東京医療福祉専門学校	平成医療学園専門学校 (協力校) 明治東洋医学院専門学校 関西医療学園専門学校
4) 会場	日本柔道整復専門学校	平成医療学園専門学校
5) 開講式	令和6年 6月 1日(土) 日本柔道整復専門学校	令和6年 6月15日(土) 平成医療学園専門学校
6) 受講者	24名	26名

区分	東日本会場(東京)	西日本会場(大阪)
7) 修了者	23名	25名
8) 閉講式	令和6年10月12日(土) 日本柔道整復専門学校	令和5年10月26日(土) 平成医療学園専門学校

## 2. 「研修会の実施を通じて柔道整復に関する知識の普及啓発と技術の向上に寄与する事業」

### ○ 教員研修会(第66回)

会員校の教職員及び教員資格所有者を対象に研究発表、シンポジウムなどを行うことにより相互研鑽及び資質の向上を図ることを目的として、毎年、教員研修会を開催している。

- (1) 日 時 令和6年9月21日(土)、22日(日・祝)
- (2) 会 場 東京保健医療専門職大学
- (3) 主 催 公益社団法人 全国柔道整復学校協会
- (4) 後 援 厚生労働省  
公益財団法人 柔道整復研修試験財団  
公益社団法人 日本柔道整復師会  
一般社団法人 日本柔道整復接骨医学会  
一般社団法人 柔道整復教育評価機構  
公益社団法人 東京都柔道整復師会
- (5) 協 賛 協賛会社計26社
- (6) 主幹校 新宿医療専門学校
- (7) 参加者 348名(会員校300名、非会員校48名)

### (8) 研修会

#### 1日目

- 講演A-1-1 『「読む」とはどういうことか?』  
講演者 柳生 好之(スタディサプリ)  
座 長 永野 修(学校法人小倉学園新宿医療専門学校経営企画室長)
- 講演B-1-1 『プロフェッショナリズムを育成する教育の実践』～専門家として生涯にわたり学び続けることの大切さ～  
講演者 片岡 有(昭和大学歯学部歯学教育学講座、歯科理工学講座講師)  
座 長 関口 将一(学校法人小倉学園新宿医療専門学校学科長)

### ○分科会

- 第1テーマ 『学び方を学ぶ』  
～入学前学生教育と明日から使える教員のための「伝える技術」～
- 講演者 山口 絢香(学校法人小倉学園新宿医療専門学校)  
座 長 春日 貴之(学校法人小倉学園新宿医療専門学校教員)

第2テーマ 『職場でのコミュニケーションスキルアップとそのための考え方』

講演者 阿部 希(航空会社勤務客室乗務員チーフパーサー)

座長 桑野 幸仁(学校法人国際志学園 九州医療スポーツ専門学校教務部長)

第3テーマ 『超音波エコーの指導方法』

講演者 青木 崇晶(株式会社エス・エス・ビー営業企画本部本部長)

座長 岩坪 弘之(学校法人小倉学園新宿医療専門学校教員)

第4テーマ 『整復シミュレータで拓く柔道整復の新時代』  
～理論を実践へ、整復を数値化する～

講演者 高須 勇斗(株式会社フラディス)

座長 葉山 直史(学校法人森ノ宮医療学園森ノ宮医療学園専門学校教員)

○ポスターセッション発表内容紹介

- ・『スマートフォン利用が姿勢に及ぼす影響』(明治東洋医学院専門学校)
- ・『クラブチーム下部組織高校女子サッカー選手の睡眠教育による睡眠習慣、体組成および運動パフォーマンスへの影響について』(日本体育大学)
- ・『柔道整復教育の解剖学分野におけるVR教育とCラーニング教育の教育効果の比較について』(四国医療専門学校)
- ・『性格特性と成績変遷との関連性—試験滞在時間を基とした学生指導方針の模索—』(平成医療学園専門学校)

2日目

○講演A-2-1 『教育に生かすコミュニケーション技術』

講演者 大島 武(東京工芸大学芸術学部長・教授)

座長 小倉 芳裕(学校法人小倉学園新宿医療専門学校校長)

○講演B-2-1 『プロフェッショナリズムを育成する教育の実践』～専門家として生涯にわたり  
学び続けることの大切さ～ (ワークショップ)

講演者 片岡 有(昭和大学歯学部歯学教育学講座、歯科理工学講座講師)

座長 関口 将一(学校法人小倉学園新宿医療専門学校学科長)

○講演A-2-2 ①『信頼される柔道整復師養成施設とは』～柔道整復の未来を拓く「第三者評価」～

講演者 関口 正雄(柔道整復教育評価機構理事長)

②『信頼される柔道整復師の養成』～柔道整復師養成施設カリキュラムのスクラップ&ビルド～

講演者 齊藤 秀樹(全国柔道整復学校協会理事)

③『多職種連携を見据えた柔道整復学教育モデル・コア・カリキュラムの必要性』

講演者 伊藤 譲(全国柔道整復学校協会理事)

座長 清水 尚道(学校法人森ノ宮医療学園理事長)

○ 柔道整復師臨床実習指導者講習会

臨床実習指導者の資質の向上及び臨床実習施設における適切な指導体制の確保を目的に、「柔道整復師養成施設臨床実習指導者講習会開催指針」(平成29年3月31日付け医政発0331第56号)に則った内容により講習会を開催した。

開催日時・場所	内 容
令和6年6月8日(土)～6月9日(日) 開催主管:東京呉竹医療専門学校 東京都渋谷区代々木1-55	講習時間16時間、講習実施担当者10名により開催、受講修了者39名に修了証書を交付。
令和6年8月4日(日)、8月11日(日) 開催主管:京都医健専門学校 京都府京都市中京区衣棚町51-2	講習時間16時間、講習実施担当者11名により開催、受講修了者24名に修了証書を交付。
令和6年9月28日(土)～9月29日(日) 開催主管:大川学園医療福祉専門学校 埼玉県飯能市下加治345	講習時間16時間、講習実施担当者6名により開催、受講修了者21名に修了証書を交付。
令和6年10月5日(土)～10月6日(日) 開催主管:九州医療スポーツ専門学校 福岡県北九州市小倉北区馬借1-1-2	講習時間16時間15分、講習実施担当者8名により開催、受講修了者16名に修了証書を交付。
令和6年10月13日(日)～10月14日(月・祝) 開催主管:四国医療専門学校 香川県宇多津町浜五番丁62-1	講習時間16時間、講習実施担当者7名により開催、受講修了者14名に修了証書を交付。
令和6年10月13日(日)～10月14日(月・祝) 開催主管:日本工学院八王子専門学校 東京都八王子市片倉町1404-1	講習時間16時間、講習実施担当者13名により開催、受講修了者12名に修了証書を交付。
令和6年12月14日(土)～12月15日(日) 開催主管:東京メディカル・スポーツ専門学校 東京都江戸川区西葛西3-1-16	講習時間16時間、講習実施担当者8名により開催、受講修了者27名に修了証書を交付。
令和7年1月19日(日)、1月26日(日) 開催主管:専門学校浜松医療学院 静岡県浜松市浜北区貴布祢232-3	講習時間16時間、講習実施担当者6名により開催、受講修了者20名に修了証書を交付。
令和7年2月2日(日)、2月9日(日) 開催主管:福岡医健・スポーツ専門学校 福岡県福岡市博多区石城町7-30	講習時間16時間、講習実施担当者13名により開催、受講修了者19名に修了証書を交付。

3. 「教員研修会の発表者に対し研究助成を行うことを通じて知識の普及啓発と技術の向上に寄与する事業」

○ 学校運営改善等助成事業

学校運営改善等助成事業助成金交付審査会を経て、令和6年8月2日付で下記のとおり研究助成金の交付を行った。

(1) 交付決定状況(総括)

①交付申請校		5校	③交付申請額(B)	1,974千円
内 訳	会員校	2校	④交付決定額(C)	740千円
	非会員校	3校	⑤差引予算残額(A-C)	260千円
②助成予算総額(A)		1,000千円 最高1校当たり 500千円限度		

(2) 交付決定額一覧

No.	学 校 名	助成金の種類(研究分野)	決定額
1	森ノ宮医療学園専門学校	柔道整復師の教育に関する分野	486千円
2	日本体育大学	柔道整復師の職域に関する分野	254千円
合計(会員校1校、非会員校1校)			740千円

4. 「柔道大会の開催を通じて柔道整復に関する知識の普及啓発と技術の向上に寄与する事業」

○ 柔道大会(第57回)

会員校相互の融和と協調を図るため、在校生による演武並びに各学校対抗試合を開催している。

(1)日 時 令和6年8月6日(火) 10:00開始

(2)会 場 東京武道館

(3)主 催 公益社団法人全国柔道整復学校協会

(4)後 援 公益財団法人全日本柔道連盟 公益社団法人日本柔道整復師会  
 公益財団法人東京都柔道連盟 公益社団法人東京都柔道整復師会  
 公益財団法人柔道整復研修試験財団 一般社団法人日本柔道整復接骨医学会  
 一般社団法人柔道整復教育評価機構

(5)参加校 28校

(6)表 彰

			団 体 表 彰		個 人 表 彰	
			学 校 名		最優秀選手	優秀選手
男子	五人制	優 勝	米田柔整専門学校		篠宮 壮一郎	多和田 凱十
		準優勝	近畿医療専門学校			石田 和臣
		3 位	福岡医健・スポーツ専門学校			中村 太一
		3 位	スポーツ健康医療専門学校			江口 龍飛
	三人制	優 勝	横浜医療専門学校		八田 京磨	酒巻 幸之丞
		準優勝	日本総合医療専門学校			坂本 眞那斗
		3 位	育英メディカル専門学校			岡田 凌空
		3 位	関西医療学園専門学校			樋口 晃生
女子	三人制	優 勝	福岡医健・スポーツ専門学校		竹之内 双葉	芝田 鈴菜
		準優勝	近畿医療専門学校			谷口 真奈佳
		3 位	関西健康科学専門学校			足立 沙耶
		3 位	福島医療専門学校			森 菜々美

最優秀選手は優勝校から1名。優秀選手は優勝校、準優勝校、3位校より各1名。

形演武表彰

学 校 名	氏 名	
MCL盛岡医療大学校	佐藤 洸佳 渡部 詩音	大沢 京香 榎木 沙姫
仙台接骨医療専門学校	内海 康介	菅原 海輝
仙台赤門医療専門学校	浅野 晴 浅野 皓	二階堂 桂太 高柳 昌人
福島医療専門学校	佐々木 望斗	星 空
中央スポーツ医療専門学校	横堀 晃大 河野 優	小谷野 空 佐藤 朱莉
大宮呉竹医療専門学校	塚本 勇也	仲井 日芽南
東京メディカル・スポーツ専門学校	中田 百桃	森本 菜々
米田柔整専門学校	遠藤 瑞輝	山田 竜揮
京都医健専門学校	安井 菜穂	岩尾 優
平成医療学園専門学校	梶原 正義	松尾 駿
福岡医健・スポーツ専門学校	梶原 琴音	須賀 真綸
日本総合医療専門学校	宮原 颯大 岩田 侑大	番場 健太 片山 淳
横浜医療専門学校	石井 万絢	奥津 心結

5. 「柔道整復に関する広報活動を通じて柔道整復の普及啓発を目的とする事業」

○ ホームページの維持管理

学校協会の活動等をわかりやすく伝えるため、ホームページの維持管理(スマートフォン対応及びセキュリティ対策(SSL)等)に努めると共に、協会に関する最新情報(概要、柔道整復師学校養成施設倫理綱領、定款、役員名簿、予算及び決算、会報)を掲載した。

ニュースとして、入学者の構成に関するアンケート調査結果報告及び臨床実習指導者講習会開催情報を掲載した。

お知らせとして、専科教員認定講習会、学校運営改善等助成事業、教員研修会及び国家試験模擬試験の各開催案内を掲載した。

○ リーフレット等の作成・配布

柔道整復師養成学校への就学促進を目的とした学校協会リーフレット「柔道整復師の世界」をホームページで公表。柔道整復師養成学校への就学の促進に寄与した。

各会員校から卒業10年までの学科を代表する卒業生で、現在の仕事、そこへのキャリア形成ステップ、時々の選択と思いを語ってもらう「卒業生のキャリア」をホームページで公表した。

「専科教員認定講習会」受講啓発用のPRポスターを作成し、会員校・非会員校(大学含む)及び都道府県柔道整復師会に送付した。

6. 「調査研究活動の実施を通じて柔道整復に関する実態を把握し、学校教育の向上に寄与する事業」

○ 柔道整復師養成施設の入学者の構成に関するアンケート調査の実施

会員校42校及び協力していただけただけの19校の非会員校に入学者アンケート調査を実施。調査報告書を取りまとめ、ホームページ等で公表した。

## II 収益事業

### 1. 教科書監修

令和6年度においては、「柔道整復学・理論編(改訂第7版)」について、記載内容の微修正を行うこととするとともに、掲載されている付録部分の検査法動画(43本)を刷新するための撮影を行った。

## III 会員相互扶助事業

### 1. 会報の発行

毎年度季刊で発行している会報70～73号を発行した。

### 2. 表彰活動

#### (1) 優秀卒業生

文武両道の精神を高揚し、学術並びに技術の習得に精励した学生に対して、学校協会賞の「表彰盾」を贈呈し表彰した。

令和6年度優秀卒業生名簿

学 校 名	氏 名	学 校 名	氏 名
北海道柔道整復専門学校	嶋 亮雅	名古屋医健スポーツ専門学校	加藤 心翔
MCL盛岡医療大学校	鳥居 詩音	中和医療専門学校	新井 颯太
仙台接骨医療専門学校	猪俣 寛太	京都医健専門学校	加藤 心翔
仙台赤門医療専門学校	浅野 晴	関西医療学園専門学校	中川 尚幸
福島医療専門学校	影山 萌	明治東洋医学院専門学校	佐藤 耕平
中央スポーツ医療専門学校	佐藤 純輝	平成医療学園専門学校	芝崎 太陽
大川学園医療福祉専門学校	小林 聖人	森ノ宮医療学園専門学校	三好 功貴
大宮呉竹医療専門学校	前田 恭祐	履正社国際医療スポーツ専門学校	小山 香織
日本柔道整復専門学校	大塚 祐平	近畿医療専門学校	小林 栄美
東京呉竹医療専門学校	岡本 翼	東洋医療専門学校	倉本 杏
日本医学柔整鍼灸専門学校	高橋 幸平	関西健康科学専門学校	黒井 正子
スポーツ健康医療専門学校	永井 ひなた	朝日医療大学校	畑 陸斗
東京メディカル・スポーツ専門学校	徳久 玲菜	IGL医療福祉専門学校	小河 功
日本工学院八王子専門学校	福崎 翔	四国医療専門学校	間島 尚也
日本健康医療専門学校	高橋 涼智	河原医療福祉専門学校	堀内 鍵吾
関東柔道整復専門学校	浜口 一樹	福岡医療専門学校	森田 夢士
新宿医療専門学校	磯野 太陽	福岡医健・スポーツ専門学校	廣 あすか
アルファ医療福祉専門学校	國武 美世	福岡天神医療リハビリ専門学校	牛島 希奈
東京医療福祉専門学校	黒澤 美優	九州医療スポーツ専門学校	頓宮 琉司
横浜呉竹医療専門学校	武藤 沙羅	九州医療専門学校	尾藤 慎哉
専門学校浜松医療学院	近藤 健生	専門学校沖縄統合医療学院	眞栄田 美海
米田柔整専門学校	松田 香菜子	計	43名

#### (2) 会員校の取組

学生の学修環境ならびに教育の質保証の向上に取り組んだ以下の会員校3校を表彰した。

東京メディカル・スポーツ専門学校、明治東洋医学院専門学校、森ノ宮医療学園専門学校

#### IV その他(法人会計)

##### 1. 「柔道整復師国家試験」模擬試験

柔道整復師国家試験の合格率の維持向上と、良質な試験問題作成等を通じて教員の資質の向上を図ることを目的に、非会員校にも参加を呼び掛け模擬試験を実施した。具体的には、教育支援委員会柔道整復師国家試験模擬試験部会が作成した試験問題により、11月11日(月)～12月1日(日)の間、参加希望校毎に試験を実施した。模擬試験実施4年目の令和6年度は、計41校(会員校32校、非会員校9校)、1,397名(会員校1,146名、非会員校251名)が参加した。

# 令和 6 年度決算報告書 (案)

自 令和 6 年 4 月 1 日  
至 令和 7 年 3 月 31 日



公益社団法人 全国柔道整復学校協会

## 貸借対照表

令和 7年 3月31日現在

公益社団法人全国柔道整復学校協会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金預金	578,022	966,082	△ 388,060
未収金	0	5,690	△ 5,690
前払費用	718,536	40,425	678,111
未収消費税等	0	43,900	△ 43,900
流動資産合計	1,296,558	1,056,097	240,461
<b>2. 固定資産</b>			
<b>(1) 特定資産</b>			
投資有価証券	259,714,439	360,371,439	△ 100,657,000
什器備品	864,607	4,805	859,802
公益目的運用資金	39,592,958	39,592,958	0
普通預金	100,000,000	0	100,000,000
特定資産合計	400,172,004	399,969,202	202,802
<b>(2) その他固定資産</b>			
電話加入権	144,000	144,000	0
差入保証金	2,621,696	2,621,696	0
その他固定資産合計	2,765,696	2,765,696	0
固定資産合計	402,937,700	402,734,898	202,802
資産合計	404,234,258	403,790,995	443,263
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
未払金	4,107,085	1,749,190	2,357,895
預り金	835,124	911,018	△ 75,894
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税等	1,925,800	0	1,925,800
流動負債合計	6,938,009	2,730,208	4,207,801
負債合計	6,938,009	2,730,208	4,207,801
<b>III 正味財産の部</b>			
<b>1. 指定正味財産</b>			
指定正味財産合計	0	0	0
<b>2. 一般正味財産</b>	397,296,249	401,060,787	△ 3,764,538
(うち特定資産への充当額)	(400,172,004)	(399,969,202)	(202,802)
正味財産合計	397,296,249	401,060,787	△ 3,764,538
負債及び正味財産合計	404,234,258	403,790,995	443,263

## 貸借対照表内訳表

令和 7年 3月31日現在

公益社団法人全国柔道整復学校協会

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引等消去	合計
<b>I 資産の部</b>					
<b>1. 流動資産</b>					
現金預金	0	0	578,022	0	578,022
他会計貸付金	0	12,519,187	47,584,758	△ 60,103,945	0
前払費用	0	0	718,536	0	718,536
流動資産合計	0	12,519,187	48,881,316	△ 60,103,945	1,296,558
<b>2. 固定資産</b>					
<b>(1) 特定資産</b>					
投資有価証券	259,714,439	0	0	0	259,714,439
什器備品	3,918	0	860,689	0	864,607
公益目的運用資金	39,592,958	0	0	0	39,592,958
普通預金	100,000,000	0	0	0	100,000,000
特定資産合計	399,311,315	0	860,689	0	400,172,004
<b>(2) その他固定資産</b>					
電話加入権	0	0	144,000	0	144,000
差入保証金	0	0	2,621,696	0	2,621,696
その他固定資産合計	0	0	2,765,696	0	2,765,696
固定資産合計	399,311,315	0	3,626,385	0	402,937,700
資産合計	399,311,315	12,519,187	52,507,701	△ 60,103,945	404,234,258
<b>II 負債の部</b>					
<b>1. 流動負債</b>					
未払金	0	0	4,107,085	0	4,107,085
預り金	0	0	835,124	0	835,124
未払法人税等	0	0	70,000	0	70,000
未払消費税等	0	0	1,925,800	0	1,925,800
他会計借入金	60,103,945	0	0	△ 60,103,945	0
流動負債合計	60,103,945	0	6,938,009	△ 60,103,945	6,938,009
負債合計	60,103,945	0	6,938,009	△ 60,103,945	6,938,009
<b>III 正味財産の部</b>					
<b>1. 指定正味財産</b>					
指定正味財産合計	0	0	0	0	0
<b>2. 一般正味財産</b>	339,207,370	12,519,187	45,569,692	0	397,296,249
(うち特定資産への充当額)	(399,311,315)	(0)	(860,689)	(0)	(400,172,004)
正味財産合計	339,207,370	12,519,187	45,569,692	0	397,296,249
負債及び正味財産合計	399,311,315	12,519,187	52,507,701	△ 60,103,945	404,234,258

# 正味財産増減計算書

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日まで

公益社団法人全国柔道整復学校協会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	874,244	1,590,739	△ 716,495
特定資産受取利息	874,244	1,590,739	△ 716,495
受取会費	28,600,000	29,900,000	△ 1,300,000
正会員受取会費	28,450,000	29,750,000	△ 1,300,000
賛助会員受取会費	150,000	150,000	0
事業収益	48,268,090	33,251,785	15,016,305
受取監修料	37,528,090	25,141,785	12,386,305
受取手数料	500,000	370,000	130,000
受取受講料	9,600,000	7,000,000	2,600,000
受取参加料	640,000	740,000	△ 100,000
雑収益	6,151,888	4,866,444	1,285,444
受取利息	4,888	719	4,169
雑収益	6,147,000	4,865,725	1,281,275
経常収益計	83,894,222	69,608,968	14,285,254
(2) 経常費用			
事業費	71,900,243	64,735,274	7,164,969
役員報酬	634,426	635,249	△ 823
給料手当	23,519,197	18,870,054	4,649,143
福利厚生費	3,554,075	2,296,728	1,257,347
会議費	5,846,217	7,434,346	△ 1,588,129
広告宣伝費	176,000	176,000	0
旅費交通費	2,608,582	3,894,740	△ 1,286,158
通信運搬費	1,426,150	869,362	556,788
減価償却費	354	706	△ 352
消耗品費	2,243,821	1,567,260	676,561
印刷製本費	2,411,010	2,240,516	170,494
光熱水料費	293,678	230,092	63,586
事務所家賃	6,173,320	6,696,585	△ 523,265
賃借料	1,567,977	2,379,614	△ 811,637
報償費	3,919,449	627,024	3,292,425
保険料	254,145	235,128	19,017
諸謝金	12,776,715	12,659,440	117,275
租税公課	2,232,818	797,611	1,435,207
支払助成金	1,540,000	1,358,000	182,000
委託費	304,920	1,296,350	△ 991,430
支払手数料	206,959	163,907	43,052
雑費	210,430	306,562	△ 96,132

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費	15,688,517	17,937,448	△ 2,248,931
役員報酬	2,006,338	1,975,340	30,998
給料手当	1,598,291	1,259,922	338,369
福利厚生費	267,511	172,871	94,640
会議費	728,683	724,625	4,058
旅費交通費	3,258,808	4,573,260	△ 1,314,452
通信運搬費	43,060	44,703	△ 1,643
減価償却費	261,844	88	261,756
消耗品費	124,911	88,162	36,749
修繕費	0	13,365	△ 13,365
印刷製本費	11,000	132,055	△ 121,055
新聞図書費	23,077	20,385	2,692
光熱水料費	22,104	17,318	4,786
事務所家賃	464,658	504,044	△ 39,386
賃借料	989,839	1,185,890	△ 196,051
諸謝金	5,568	11,136	△ 5,568
租税公課	101,652	22,691	78,961
委託費	3,192,090	4,584,673	△ 1,392,583
渉外費	172,000	356,190	△ 184,190
支払手数料	162,135	188,648	△ 26,513
支払報酬料等	1,048,850	937,200	111,650
諸会費	1,000,000	1,000,000	0
雑費	206,098	124,882	81,216
経常費用計	87,588,760	82,672,722	4,916,038
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,694,538	△ 13,063,754	9,369,216
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 3,694,538	△ 13,063,754	9,369,216
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	1	△ 1
経常外費用計	0	1	△ 1
当期経常外増減額	0	△ 1	1
税引前当期一般正味財産増減額	△ 3,694,538	△ 13,063,755	9,369,217
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,764,538	△ 13,133,755	9,369,217
一般正味財産期首残高	401,060,787	414,194,542	△ 13,133,755
一般正味財産期末残高	397,296,249	401,060,787	△ 3,764,538
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	397,296,249	401,060,787	△ 3,764,538

正味財産増減計算書内訳表

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日まで

公益社団法人全国柔道整復学校協会

(単位: 円)

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計				法人会計	内部取引等消去	合計
	公1普及啓発	小計	取1収益	他1会員相互扶助	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
特定資産運用益	874,221	874,221	0	0	0	0	23	0	874,244
特定資産受取利息	874,221	874,221	0	0	0	0	23	0	874,244
受取会費	4,751,839	4,751,839	0	10,398,555	0	10,398,555	13,449,606	0	28,600,000
正会員受取会費	4,676,839	4,676,839	0	10,383,555	0	10,383,555	13,389,606	0	28,450,000
賛助会員受取会費	75,000	75,000	0	15,000	0	15,000	60,000	0	150,000
事業収益	10,740,000	10,740,000	37,528,090	0	0	37,528,090	0	0	48,268,090
受取監修料	0	0	37,528,090	0	0	37,528,090	0	0	37,528,090
受取手数料	500,000	500,000	0	0	0	0	0	0	500,000
受取受講料	9,600,000	9,600,000	0	0	0	0	0	0	9,600,000
受取参加料	640,000	640,000	0	0	0	0	0	0	640,000
雑収益	3,913,000	3,913,000	0	0	0	0	2,238,888	0	6,151,888
受取利息	0	0	0	0	0	0	4,888	0	4,888
雑収益	3,913,000	3,913,000	0	0	0	0	2,234,000	0	6,147,000
経常収益計	20,279,060	20,279,060	37,528,090	10,398,555	0	47,926,645	15,688,517	0	83,894,222
(2) 経常費用									
事業費	58,081,163	58,081,163	3,420,525	10,398,555	0	13,819,080	0	0	71,900,243
役員報酬	479,691	479,691	139,261	15,474	0	154,735	0	0	634,426
給料手当	19,300,048	19,300,048	847,217	3,371,932	0	4,219,149	0	0	23,519,197
福利厚生費	2,980,838	2,980,838	38,215	535,022	0	573,237	0	0	3,554,075
会議費	5,822,717	5,822,717	23,500	0	0	23,500	0	0	5,846,217
広告宣伝費	176,000	176,000	0	0	0	0	0	0	176,000
旅費交通費	1,891,876	1,891,876	515,222	201,484	0	716,706	0	0	2,608,582
通信運搬費	1,239,977	1,239,977	10,391	175,782	0	186,173	0	0	1,426,150
減価償却費	354	354	0	0	0	0	0	0	354
消耗品費	1,976,155	1,976,155	17,844	249,822	0	267,666	0	0	2,243,821
印刷製本費	813,645	813,645	0	1,597,365	0	1,597,365	0	0	2,411,010
光熱水料費	246,313	246,313	3,157	44,208	0	47,365	0	0	293,678
事務所家賃	5,177,625	5,177,625	66,379	929,316	0	995,695	0	0	6,173,320
賃借料	1,567,977	1,567,977	0	0	0	0	0	0	1,567,977
報償費	656,149	656,149	0	3,263,300	0	3,263,300	0	0	3,919,449
保険料	254,145	254,145	0	0	0	0	0	0	254,145
諸謝金	12,687,627	12,687,627	89,088	0	0	89,088	0	0	12,776,715
租税公課	628,437	628,437	1,604,381	0	0	1,604,381	0	0	2,232,818
支払助成金	1,540,000	1,540,000	0	0	0	0	0	0	1,540,000
委託費	281,600	281,600	23,320	0	0	23,320	0	0	304,920
支払手数料	149,559	149,559	42,550	14,850	0	57,400	0	0	206,959
雑費	210,430	210,430	0	0	0	0	0	0	210,430
管理費	0	0	0	0	0	0	15,688,517	0	15,688,517
役員報酬	0	0	0	0	0	0	2,006,338	0	2,006,338
給料手当	0	0	0	0	0	0	1,598,291	0	1,598,291
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	267,511	0	267,511
会議費	0	0	0	0	0	0	728,683	0	728,683
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	3,258,808	0	3,258,808
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	43,060	0	43,060
減価償却費	0	0	0	0	0	0	261,844	0	261,844
消耗品費	0	0	0	0	0	0	124,911	0	124,911
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	11,000	0	11,000
新聞図書費	0	0	0	0	0	0	23,077	0	23,077
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	22,104	0	22,104
事務所家賃	0	0	0	0	0	0	464,658	0	464,658
賃借料	0	0	0	0	0	0	989,839	0	989,839
諸謝金	0	0	0	0	0	0	5,568	0	5,568
租税公課	0	0	0	0	0	0	101,652	0	101,652
委託費	0	0	0	0	0	0	3,192,090	0	3,192,090
渉外費	0	0	0	0	0	0	172,000	0	172,000
支払手数料	0	0	0	0	0	0	162,135	0	162,135
支払報酬料等	0	0	0	0	0	0	1,048,850	0	1,048,850
諸会費	0	0	0	0	0	0	1,000,000	0	1,000,000
雑費	0	0	0	0	0	0	206,098	0	206,098
経常費用計	58,081,163	58,081,163	3,420,525	10,398,555	0	13,819,080	15,688,517	0	87,588,760
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 37,802,103	△ 37,802,103	34,107,565	0	0	34,107,565	0	0	△ 3,694,538
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 37,802,103	△ 37,802,103	34,107,565	0	0	34,107,565	0	0	△ 3,694,538
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 37,802,103	△ 37,802,103	34,107,565	0	0	34,107,565	0	0	△ 3,694,538
他会計振替額	33,361,212	33,361,212	△ 33,361,212	0	0	△ 33,361,212	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 4,440,891	△ 4,440,891	746,353	0	0	746,353	0	0	△ 3,694,538
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0	0	70,000	0	70,000
当期一般正味財産増減額	△ 4,440,891	△ 4,440,891	746,353	0	0	746,353	△ 70,000	0	△ 3,764,538
一般正味財産期首残高	343,648,261	343,648,261	35,456,588	△ 45,501,067	21,817,313	11,772,834	45,639,692	0	401,060,787
一般正味財産期末残高	339,207,370	339,207,370	36,202,941	△ 45,501,067	21,817,313	12,519,187	45,569,692	0	397,296,249
II 指定正味財産増減の部									
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	339,207,370	339,207,370	36,202,941	△ 45,501,067	21,817,313	12,519,187	45,569,692	0	397,296,249

## 財務諸表に対する注記

公益社団法人全国柔道整復学校協会

### 1. 重要な会計方針

- (1) 満期保有目的の債権については償却原価法（定額法）によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法  
定率法によっている。
- (3) リース物件については、通常の賃貸借取引による会計処理を適用している。
- (4) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
投資有価証券	360,371,439	99,343,000	200,000,000	259,714,439
什器備品	4,805	1,122,000	262,198	864,607
公益目的運用資金	39,592,958	0	0	39,592,958
普通預金	0	100,000,000	0	100,000,000
小 計	399,969,202	200,465,000	200,262,198	400,172,004
合 計	399,969,202	200,465,000	200,262,198	400,172,004

### 3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
投資有価証券	259,714,439	(0)	(259,714,439)	(0)
什器備品	864,607	(0)	(864,607)	(0)
公益目的運用資金	39,592,958	(0)	(39,592,958)	(0)
普通預金	100,000,000	(0)	(100,000,000)	(0)
小 計	400,172,004	(0)	(400,172,004)	(0)
合 計	400,172,004	(0)	(400,172,004)	(0)

### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	1,603,507	738,900	864,607
合 計	1,603,507	738,900	864,607

### 5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
神奈川県第252回公募公債	60,371,439	56,054,400	△ 4,317,039
第72回日本学生支援債券	100,000,000	99,740,000	△ 260,000
第39回住宅金融支援機構債券	99,343,000	97,361,700	△ 1,981,300
合 計	259,714,439	253,156,100	△ 6,558,339

## 附属明細書

公益社団法人全国柔道整復学校協会

---

1. 特定資産の明細

財務諸表に対する注記で記載しているため、附属明細書での記載を省略する。

2. 引当金の明細

該当なし

## 財産目録

令和 7年 3月31日現在

公益社団法人全国柔道整復学校協会

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>			
預金	普通預金		84,182
	みずほ銀行	運転資金として	31,492
	浜松町支店		
	ゆうちょ銀行	運転資金として	6,199
	三井住友銀行	運転資金として	46,491
前払費用	浜松町支店		
	郵便振替口座 事務所他	運転資金として 家賃前払分他	493,840 718,536
流動資産合計			1,296,558
<b>(固定資産)</b>			
<b>特定資産</b>			
投資有価証券	神奈川県第252回 公募公債	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的 事業に使用している。	259,714,439 60,371,439
	第72回日本学生 支援債券	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的 事業に使用している。	100,000,000
	第39回住宅金融支援 機構債券	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的 事業に使用している。	99,343,000
	什器備品		864,607
	マークシートリーダー	法人会計に使用している。	860,200
	パソコン	事務所で使用しているパソコンである。	1
	事務所備品等	共用財産であり、うち88.9%は公益目的保有 財産として公1事業の用に供し、11.1%は管 理運営の用に供している。	4,406
	公益目的運用資金		39,592,958
	三井住友銀行	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的 事業に使用している。	38,054,216
	浜松町支店		
未収金	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的 事業に使用している。	1,538,742	
普通預金		100,000,000	
三井住友銀行	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的 事業に使用している。	100,000,000	
浜松町支店			
<b>その他固定資産</b>			
電話加入権	電話加入権	事務所で使用している電話の加入権である。	144,000
差入保証金	東京都港区浜松町1-6- 2 丸神ビル1階	事務所の保証金	2,621,696
固定資産合計			402,937,700
資産合計			404,234,258
<b>(流動負債)</b>			
未払金	NTT等	経費未払金	4,107,085 4,107,085
	預り金		835,124
源泉所得税	源泉所得税	委員等から徴収した源泉所得税の預り分	7,716
	住民税	住民税預り分	30,900
	社会保険料	職員から徴収した社会保険料の預り分	238,400
	税務署	職員等から徴収した源泉所得税の預り分	50,170
	税務署	士業に対する源泉所得税預り分	17,938
	その他	その他	490,000
	未払法人税等	税務署	法人税等の未払額
未払消費税等	税務署	消費税の未払額	1,925,800
流動負債合計			6,938,009
負債合計			6,938,009
正味財産			397,296,249

# 監査報告書

公益社団法人 全国柔道整復学校協会  
会長 谷口和彦 殿

令和7年5月9日

公益社団法人 全国柔道整復学校協会

監事 米田忠正 

監事 清水尚道 

私たちは、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの令和6年度における公益社団法人全国柔道整復学校協会の会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

## 1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事の業務執行の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

## 2. 監査意見

- (1) 収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財産状態を正しく表示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する事項は無いと認める。

以上

## 令和7年度 会員協議会

## (1) 各委員会、関連団体等報告

## 1) 各委員会

## ・ 常設委員会

## ア 教育支援委員会 教科書部会

## イ 教育支援委員会 教員研修等部会

・ 令和7年 第67回 教員研修会プログラム

【省略】  
第67回教員研修会の開催  
について（記事へ）

## ウ 教育支援委員会 専科教員認定講習部会

・ 令和7年度受験者数等

… 3

・ 令和7年度第2回部会（5/14）議事録

【委員会の状況】へ

## エ 教育支援委員会 柔道整復師国家試験模擬試験部会

・ 令和7年度 模擬試験参加へのご案内

… 5

## オ 広報・調査委員会

## カ 柔道委員会

・ 第58回 柔道大会について

… 7

・ 令和7年度第2回部会（5/29）議事録

【委員会の状況】へ

## キ 組織運営委員会

【省略】第1回研修会  
報告（記事へ）

ク その他 （参照：<https://drive.google.com/file/d/15pdLaQn6Qf6-Or9yq6D9c9fe8a306OuL/view?usp=sharing>）

・ 柔道整復学教育モデル・コア・カリキュラム策定作業部会

柔道整復学教育モデル・コア・カリキュラム（案）

# 令和7年度 専科教員認定講習会

## 受験者数等報告書

令和7年6月20日現在  
専科教員認定講習部会

東京会場 主幹校 東京メディカル・スポーツ専門学校  
協力校 東京医療福祉専門学校  
協力校 東京呉竹医療専門学校

大阪会場 主幹校 明治東洋医学院専門学校  
協力校 関西医療学園専門学校  
協力校 森ノ宮医療学園専門学校

単位：人

	東京会場	大阪会場	計
受験者数	21	26	47
(実務経験4年)	(6)	(6)	(12)
合格者数	21	26	47
(実務経験4年)	(6)	(6)	(12)
受講者数	19	26	45
(実務経験4年)	(5)	(6)	(11)

- ・東京会場開講式 6月7日(土) 東京メディカル・スポーツ専門学校
- ・大阪会場開講式 6月14日(土) 明治東洋医学院専門学校

全柔学協発第110号  
令和7年6月20日

柔道整復師養成施設長 各位

公益社団法人 全国柔道整復学校協会  
会長 谷口 和彦  
(公印省略)  
担当理事 齊藤 秀樹

令和7年度「全国柔道整復学校協会統一模擬試験」参加へのご案内

謹啓 入梅の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、当協会の活動に対し格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、標記のとおり、令和7年度「全国柔道整復学校協会統一模擬試験」を開催することとなりました。

各養成施設の受験生が、この模擬試験により自己の学修状況を全国と比較することで、更なる学習の意欲を高められることを目指しています。また、貴校における国家試験に向けての学生の指導にご活用いただけると存じます。

参加についてご検討下さいますよう宜しくお願い申し上げます。

敬具

#### 記

- 1 申込み期限 : 令和7年10月3日(金)
- 2 費用 : 当協会会員校 1人につき1,100円(消費税込み)  
当協会会員校外 1人につき3,300円(消費税込み)
- 3 申込み方法 : 下記のQRコード、アドレス(Google forms)にてご回答ください。



<https://docs.google.com/forms/d/1VXQfQPyEb0Bz5Vo63gliRwdJT6uR1-LqIhPzTXbDsDQ/edit>

※QRコードが読み取れない場合は、担当の杉山までメールにてご連絡ください。

- 4 試験実施期間 : 11月8日(土)～11月30日(日)  
※実施期間内に各校において実施してください。
- 5 試験問題・解答について : 10月31日(金)(予定)に各校にデータ送信  
※試験問題は受験者分を各校で印刷願います。  
※解答マークシートは学校協会より申込人数分を各校に郵送いたします。
- 6 問題への質問受付期間 : 各校試験実施日～12月2日(火)
- 7 採点について : 解答マークシートを学校協会に返送していただき採点。  
※解答マークシートの返送については各校負担でお願いいたします。  
※全校のマークシートが揃わなければ、全体結果の返却に支障を来すため、  
マークシートは試験実施後3日以内に協会宛に発送をお願いいたします。
- 8 結果について : 全国での平均、受験者の順位、各科目平均、各問題識別係数、受験生成績個表、学校間比較(他校校名なし)等を12月25日(木)(予定)に各校に送信いたします。
- 9 実施後アンケート : 1月中旬に実施させていただきます。
- 10 令和5年度からの変更点 :  
・試験結果配信を年内(予定)といたします。  
・出題の構成をオリジナル問題70%、国家試験改編問題30%といたします。

**\*参加校には、後日詳細な実施要領をお送りいたします。**

**【問い合わせ先】**

公益社団法人全国柔道整復学校協会  
教育支援委員会柔道整復師国家試験模擬試験部会  
東京呉竹医療専門学校 担当 : 杉山直人  
電話 : 03-3341-4043  
Mail : sugiyama@kuretake.ac.jp

# 令和7年6月20日定時総会

## 柔道委員会報告

### 大会日程

- 令和7年度 第58回 柔道大会
  - 日 程 令和7年8月5日（火）
  - 会 場 東京武道館
  - 開会式 10：00～（開場9：00）
  - 監督会議 令和7年8月4日16：00～  
東京武道館

## 試 合

- ▶ 男 子 予選リンク戦 決勝トーナメント戦  
5人制参加予定 12校  
3人制参加予定 12校
- ▶ 女 子 予選リンク戦 決勝トーナメント戦  
3人制参加予定 8校
- ▶ 形演武（手技・足技・腰技）  
参加予定 8校13組

## 審判規程

- ▶ 国際柔道連盟試合審判規程  
特別ルール
  - ① 下半身の攻撃及び防御を可とする。  
但し、明らかな下半身への防御は指導とする。
  - ② 逆背負いは禁止とする。
- ▶ ジュリを置く

## 表彰

- ▶ 最優秀選手賞 各優勝校から1名推薦
- ▶ 優秀選手賞 各準優勝校から1名推薦
- ▶ 形演武 賞状

## その他

- ▶ 選手登録 令和7年6月23日（月）
- ▶ 選手変更 登録選手のみ
- ▶ IDカード 廃止
- ▶ パンフレット 学校協会ホームページから各校でダウンロード
- ▶ 発送業務 トロフィー等の発送は各校で行う。
- ▶ 対戦抽選 令和7年6月末予定

令和7年度 会員協議会

(1) 各委員会、関連団体等報告

2) 関連団体等

- ・ (公財) 柔道整復研修試験財団
  - ・ (一社) 日本柔道整復接骨医学会
  - ・ (公社) 日本柔道整復師会
  - ・ (一社) 柔道整復教育評価機構
  - ・ 厚生労働省
  - ・ 文部科学省
    - ア 専修学校の外部の識見を有する者による評価（第三者評価）のポイント
    - イ 専修学校における学校評価ガイドライン概要
    - ウ 専修学校における学校評価ガイドライン 【省略】
- 参照：[https://www.mext.go.jp/content/20250630-mxt\\_syogai01-000043419\\_2.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20250630-mxt_syogai01-000043419_2.pdf)

# 参考：専修学校の外部の識見を有する者による評価（第三者評価）のポイント

## 1. 評価項目等

第三者評価で**確認する項目**は、自己点検評価の項目のうち**教育内容に関する**ことを中心に評価しつつ、既に**養成施設指定規則等で外部による点検等がある場合などは、学校の判断で必要な項目や指標を追加、削除等をするなどメリハリを付けて評価**

## 2. 第三者評価の実施

評価の信頼性や質の確保の観点から、**評価を実施する者の専門性・中立性に関する要件**を満たした者が実施するようガイドラインで示すとともに、学校が評価の実施者を責任を持って選択

※安定的で、質の高い第三者評価を実施するためにも、学校から独立して、かつ、第三者評価に関する専門的知見や実施経験を有する組織・団体等に依頼することが望ましい。  
 ※第三者評価の実施を推進していくため、文部科学省として、評価組織の立ち上げや評価者育成のための支援、評価ガイドラインの普及・啓発の支援、学校の教職員向け研修等の支援を行う予定。

## 3. 第三者評価を求める対象

第三者評価は法的には努力義務だが、大学等と同水準の質の保証が求められる場合や特別な教育課程や取組に対する認定要件に関するフォローアップが求められている場合等もあることを踏まえ、**①大学院入学資格（高度専門士）が付与される専門課程及び専攻科を有する学校、②外国人留学生キャリア形成促進プログラム認定校については、令和8年4月1日からの第1期間において第三者評価の実施を求める**

※ 評価組織や評価者の数、地域の偏在等を踏まえると、期間内に実施できない場合も想定されるため、その場合は認定の取り消しは行わず、速やかに実施を求めることとする。  
 ※ 職業実践専門課程の認定校については、令和13年度からの実施を想定しつつ、令和8年度から令和12年度の実施状況を見て判断

## 4. 第三者評価の評価期間、結果の取り扱い

第三者評価を行う期間については、実践的な職業教育を行うためには社会のニーズを適宜反映することが必要であり、期間は短めに設定した方がよいこと、また、専門学校はほとんどが4年以内の教育課程であることから、**5年以内に1回実施**

評価の結果は、**学校のHPに掲載するなど社会へ公表するとともに、所轄庁へ報告**

## 5. 評価の実施体制の構築

評価の実施者や教職員の研修等を充実するとともに、すべての学校が質の高い評価を実施できるような仕組みを各地域、各分野において早急に構築

## 専修学校における学校評価ガイドライン概要

学校教育法の一部改正において、**専門課程を置く専修学校（専門学校）に①大学と同等の項目での自己点検評価の義務付け、②外部の識見を有する者による評価の努力義務化が措置（令和8年4月1日施行）**



委託事業による調査研究をもとに、専修学校の質保証・向上に関する調査研究協力者会議における検討を踏まえ、「専修学校における学校評価ガイドライン」を改訂

### ガイドラインのポイント（専門学校）

目的	○各学校が、教育、組織及び運営並びに施設、設備の状況について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価・公表することにより、学校として組織的・継続的な改善を図る。
自己点検評価 ※義務	○各学校の教職員が、当該学校の理念・目的、目標に照らして、自ら評価基準を設定し、学校の教育活動、学修成果、組織及び運営並びに施設及び設備の状況について自ら行う点検及び評価。 ○ガイドラインで示した項目等について評価を行い、評価結果の分析に加え、それらを踏まえた改善方策についても記述。
第三者評価 ※努力義務	○自己点検評価の結果を踏まえ、学校から独立した第三者（独立した評価機関・組織を含む。）が認める評価基準に基づき、当該第三者が学校の教育活動、学修成果、学校運営等について行う評価。 ○評価は、専門的な評価が可能者（分野に精通する者、専修学校に識見を有する者、大学等の評価経験者など）で、学校や設置法人から中立である者が実施。 ○評価実施だけでなく、評価に付随する様々な業務が生じることから、第三者評価に関する専門的知見や実施経験を有する組織・団体等に依頼することが望ましい。 ○第三者評価の実施者及び学校評価の担当となる教職員の研修を充実することが必要。
学校関係者評価 ※任意	○保護者、地域住民、企業等（当該学校の教職員を除く）により構成された組織等が、自己点検評価の結果について行う評価。 ○法令上の努力義務ではなく、保護者や関連企業等の学校関係者に学校について深く理解してもらい、意見を聞く場として有用であることから、各学校の自主的・自律的な質保証の仕組みの一つとして引き続き実施することも考えられる。
評価期間	○自己点検評価：毎年度1回、第三者評価：5年以内に1回（学校関係者評価：毎年度1回（任意）
評価結果	○自己点検評価、第三者評価のいずれも1～3の三段階で評価し、分析結果や所見を記載。
公表・報告	○評価結果及びそれを踏まえた今後の改善方策を学校のホームページや出版物への掲載等により公表。 ○第三者評価結果は所轄庁に報告。

※評価にかかる費用や業務が学校の過度な負担とならないように、**メリハリのある評価が実施されるよう、具体的な実施方法の例を示す**。  
 ※高等専修学校については、自己評価（義務）と学校関係者評価（努力義務）を行うことになっており、専門学校の評価の方法や項目等と同様に行うこととされている。

### 各評価における評価項目例①

大項目	小項目	評価の基準	自己点検評価	第三者評価
項目1 教育理念・目的・目標	1 教育理念、目的及び目標の設定等	教育理念等を踏まえ、当該専門学校としての目的及び目標を明確に設定し、養成する人材像を明確にしていること。	◎	◎
項目2 教育課程、教育の実施、 学修成果	1 教育課程の編成と 授業科目	①学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な教育課程編成・実施方針を作成した上で、教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置していること。	◎	◎
		②外国人留学生に対して、日本国内に就職する際に必要となる日本社会の理解の促進に資する授業科目を300時間以上開設していること。 【注】外国人留学生キャリア形成促進プログラム】	認	認
	2 教育の実施	①授業科目内容に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、成績評価基準に基づき成績評価を行っていること。	◎	◎
		②企業等と連携した、実習、実技、実験又は演習等（以下「実習・演習等」という）の授業を行っていること。教育目標の達成に必要な企業等と連携した実習・演習等の単位時間または単位数の総授業時数に占める割合を具体的に設定していること。【注】職業実践専門課程】	認	認
	3 単位・卒業認定	学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針（資格・免許等を含む修得させる職業能力を含む）を学科・コースごとに定め、当該方針に基づき卒業の認定をしていること。	◎	◎
4 学修成果目標の 達成状況	卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに職業能力を含む資質能力の修得（資格・免許等の取得や知識・技術・技能の修得含む。）についての目標を定め、その目標が達成できていること。	◎	◎	
	学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できていること。	◎	◎	

◎	必須項目	△	任意項目
○	簡易に評価	認	認定制度における必須項目

### 各評価における評価項目例②

大項目	小項目	評価の基準	自己点検評価	第三者評価
項目3 学生の受入れ学生支援	1 学生募集及び入 学者の選抜、収容 定員の管理	①入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、合否を決定していること。	◎	◎
		②学生の受入れは、入学定員に基づき適正に行っていること。 【注】修学支援新制度機関要件の確認 【注】外国人留学生キャリア形成促進プログラム】	◎	◎
	2 自主的な学習の 促進に対する支援	学生の学力や学習状況を把握し、入学前教育や補習授業を行うなど学習支援に取り組んでいること。学生の円滑な学習に向け、シラバスの活用による学習成果の向上や自主的な学習に関する適切な支援を行っていること。	△	△
	3 多様な学生に対 する支援	①適切な体制を構築し、障がいのある学生、海外からの留学生、社会人経験者など、多様な学生に対する支援を行っていること。	△	△
		②特に海外からの留学生について適正在籍管理、進路(就職)指導を行うとともに、日本人学生との交流の機会が確保されていること。 【注】外国人留学生キャリア形成促進プログラム】	認	認
	4 学生生活に関す る支援	①カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営していること。	◎	◎
		②留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対応を行っていること。	◎	◎
③学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用していること。		◎	○	
④学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。		△	△	
⑤学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。		◎	◎	

◎	必須項目	△	任意項目
○	簡易に評価	認	認定制度における必須項目

### 各評価における評価項目例③

大項目	小項目	評価の基準	自己点検評価	第三者評価
項目4 教育実施組織・教員	1 教員の配置、募集、採用	①教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員を確保するために基準等（教員の採用基準等）を整備し、適正に運用していること。	◎	◎
		②教員の常勤・非常勤、年齢構成等、また教員一人当たりの授業時数等を把握していること。また、教員の専門性、教授力を把握、評価していること。	△	△
	2 教員の組織編制等	①学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規程等で定めていること。	◎	◎
		②教員間で連携、協力体制を構築していること。	△	△
	3 教員の資質の向上	①学校の教育活動の改善、工夫を行うFD(Faculty Development)などの取組や、教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っていること。	◎	○
		①-2特に職業実践専門課程においては、企業等と連携して組織的に行っていること。【注】職業実践専門課程 ②教員の授業及び指導力を修得・向上するための研修を企業等と連携して、組織的に行っていること。【注】職業実践専門課程	認	認
項目5 教育環境	1 教育環境の整備	①教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等を備えていること。	◎	◎
		②学生の学習支援のための施設(自習室等)を整備していること。また、学生の休憩、食事のためのスペースを確保していること。	△	△
		③図書室を設置し、専攻分野の教育に必要な専門書及び参考図書を配架し、必要に応じて学生が閲覧できるようにしていること。	△	△
	2 安全対策、防災組織	①学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っていること。	◎	○
		②火災の発生や防災に関する組織体制を整備し、適切に運営していること。	△	△

◎	必須項目	△	任意項目
○	簡易に評価	認	認定制度における必須項目

### 各評価における評価項目例④

大項目	小項目	評価の基準	自己点検評価	第三者評価
項目5 教育環境	3 施設・設備等の点検、改善等	①施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等を適切に行っていること。	△	△
		②施設の改築・改修、設備の更新等の計画を定め、適切に実施していること。	△	△
項目6 教育活動の基盤と改善・向上の取組	1 中期事業計画と財務基盤	①当該専修学校が策定している中長期的計画に、教育目的、教育目標の実現に向けた具体的な内容が位置付けられていること。	△	△
		②当該専修学校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立していること。	◎	○
	2 学校運営	①学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われていること（職業教育に関するマネジメント（教育の企画・設計・運営等）における責任体制を含む。）。	◎	◎
		①学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等外部からの意見を反映するなど、関連企業等団体、地域社会等からの意見を当該専修学校の運営やその改善・向上において活用していること。	△	△
	3 学校評価の実施と改善活動	①-2特に職業実践専門課程においては、教育課程編成委員会を年2回以上開催していること。【注】職業実践専門課程	認	認
		②学校評価を実施し結果及び改善状況についての情報を公表していること。	◎	○
		③学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っていること。	◎	◎
	4 社会からの理解と情報の公表	①当該専修学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表していること。	◎	○
②教育目的・目標の達成状況や活動状況について関連する教育機関、産業界等をはじめ、社会全体からの理解を得るよう取組んでいること。		△	△	

◎	必須項目	△	任意項目
○	簡易に評価	認	認定制度における必須項目



# 公益社団法人 全国柔道整復学校協会

## 令和6年度 第13回理事会議事録

1. 開催された日時 令和7年3月21日（金）13：00～13：35
2. 開催された場所 浜松町コンベンションホール会議室3  
東京都港区浜松町二丁目3番1号  
日本生命浜松町クレアタワー6階
3. 理事総数及び定足数 総数 9名、定足数 5名
4. 出席理事数 8名
5. 議長 会長 谷口和彦
6. 議題  
協議・決議事項  
第1号議案 令和6年度収支予算の件  
報告事項  
第1号報告 代表理事の職務執行報告及び行事予定（3月、4月）の件  
第2号報告 各委員会等  
第3号報告 関係団体  
第4号報告 その他
7. 議事の経過及びその結果
  - (1) 定足数の確認等  
冒頭で事務局長より、理事総数9名中8名出席、1名欠席であること、従って開催要件の定足数である過半数5名以上の出席を充足していることを確認した。
  - (2) 議案の審議状況及び議決結果等  
定款第32条の規定に基づき、谷口会長が議長として本会議の成立を宣した。  
議事録署名人は定款第33条第2項の規定に基づき、谷口会長、関口副会長、米田監事及び清水監事とし、議案の審議に移った。

## 協議・決議事項

### ①第1号議案 令和6年度収支予算の件

事務局長から、学校協会の令和6年度決算に向けた事務作業において、公益目的財産（三井住友銀行浜松町支店普通預金）の一部が、令和5年度と同様に年度末において運転資金不足により一時的な取り崩し状態に至ることが判明した旨を報告。併せて、本状態は会員校から入金される新年度年会費によって補填され、早急に解消される予定であると説明。

議長は、本議案について議場に諮ったところ、出席理事全員異議なくこれを承認可決した。

なお、谷口会長は、事務局に対し学校協会の経理実務に関し一層の慎重を期すよう指示を行うと共に、各理事に対し経費節約を念頭に置いた事業実施の検討を要請。

### ②第2号議案 その他

谷口会長より、関係各位宛の投書への対応について議場に諮ったところ、当該書面は学校協会宛のものではないため情報共有に留めることとして出席理事全員異議なくこれを承認可決した。

## 報告事項

### ①第1号報告 代表理事の職務執行報告と行事予定（3月、4月）の件

事務局長から、3月及び4月の各委員（部）会並びに学校協会等諸行事の予定を報告。

続いて、議長が質問並びに意見を求めたところ、出席理事全員異議なく報告のとおり了承された。

### ②第2号報告 各委員会等

#### ア. 教育支援委員会教員研修等部会

伊藤理事から、資料に基づき3月12日（水）に行われた令和7年度の学校運営改善等助成事業助成金の審査委員会の結果を報告。研究課題5件の申請があり1件が辞退。残り4件の審査結果として3件が保留となっており、3月28日（金）までに修正の提出を求めている旨を報告。

また、次回の教員研修会における講演2のパネリスト3名の候補者を報告。

#### イ. 教育支援委員会専科教員認定講習部会

奥田理事から、令和7年度の専科教員認定講習会の申込状況（途中経過）を報告。

続いて、議長が質問並びに意見を求めたところ、出席理事全員異議なく報告のとおり了承された。

③第3号報告 関連団体  
なし

④第4号報告 その他  
特になし

以上をもって議案の審議等を終了したので、13時35分、議長は閉会を宣し解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した会長、副会長及び監事は記名押印する。

令和7年3月21日

会 長 谷 口 和 彦 印

副 会 長 関 口 正 雄 印

監 事 米 田 忠 正 印

監 事 清 水 尚 道 印



# 公益社団法人 全国柔道整復学校協会

## 令和7年度 第1回理事会議事録

1. 開催された日時 令和7年4月18日（金）14：00～16：13

2. 開催された場所 全国柔道整復学校協会事務局  
東京都港区浜松町1-6-2丸神ビル1階

3. 理事総数及び定足数 総数 9名、定足数 5名

4. 出席理事数 9名

5. 議長 会長 谷口和彦

### 6. 議題

#### 協議・決議事項

第1号議案 令和6年度事業報告書の承認の件

第2号議案 委員会委員人事の件

第3号議案 柔道整復学教育モデル・コア・カリキュラム策定の件

第4号議案 令和7年第67回 教員研修会の件

#### 報告事項

第1号報告 代表理事の職務執行報告及び行事予定（4月、5月）の件

第2号報告 各委員会等

第3号報告 関係団体

第4号報告 その他

### 7. 議事の経過及びその結果

#### (1) 定足数の確認等

冒頭で事務局長より、オンラインによる出席を含めて理事総数9名中全員が出席であること、したがって、開催要件の定足数たる過半数5名以上の出席を充足していることを確認した。

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

定款第32条の規定に基づき、谷口会長が議長として本会議の成立を宣した。

議事録署名人は定款第33条第2項の規定に基づき、谷口会長、関口副会長、米田監事及び清水監事とし、議案の審議に移った。

協議・決議事項

①第1号議案 令和6年度事業報告書の承認の件

事務局長から、資料に基づき令和6年度事業報告書案の説明が行われた。

谷口会長から、報告書案は例年より1か月前倒して諮られているので、指摘があれば事務局に示していただき、修正がなければ承認との提案があった。

議長は本議案について議場に諮ったところ、出席理事全員異議なくこれを承認可決した。

②第2号議案 委員会委員人事の件

事務局長から、4月の教員の人事異動に伴い会員校より申請のあった、教科書部会、柔道整復師国家試験模擬試験部会及び組織運営委員会における委員、部会員交代案について説明。

議長は、本議案について議場に諮ったところ、出席理事全員異議なくこれを承認可決した。

廣岡理事から、柔道委員会の湊谷委員の所属変更により京都医健専門学校からの委員が不在となっている現状について相談があり、湊谷委員を通じて京都医健専門学校の意向を確認することとなった。

③第3号議案 柔道整復学教育モデル・コア・カリキュラム策定の件

伊藤理事から、会場における資料の回覧とZoomの画面共有により柔道整復学教育モデル・コア・カリキュラム（案）の提示と策定状況の説明があった。

谷口会長から、今後の進め方について、来月の理事会に当該案を精査したパイロット版を提示、理事の学校で内容を確認するとともに会員校にも意見を求め、そのうえで大学からも意見を求める旨のスケジュールの提案があった。

議長は本議案について議場に諮ったところ、出席理事全員異議なくこれを承認可決した。

④第4号議案 令和7年 第67回 教員研修会の件

伊藤理事から、資料に基づき第67回教員研修会プログラム案と講師に対する講師料、交通費・宿泊費及び懇親会費用の扱いについての提案があり、協議の結果、

・講演1の座長は、演者である関口副会長の賛同により谷口会長とする

- ・会員校講師に対する講師料は1万円、研修会にも参加するとの意味合いから学校協会からの交通費・宿泊費の負担はなし、懇親会は招待とする
  - ・学校協会役員の講師料はなく、交通費・宿泊費及び懇親会の扱いは会員校講師と同様とする
  - ・外部講師に対しては、講師料は個別に協議、交通費・宿泊費は実費を学校協会が負担することとし、懇親会は招待とする
- こととなり、一律の基準を設けるのではなく、今後も理事会で相談しながら進めることとなった。

議長は、本議案について議場に諮ったところ、出席理事全員異議なくこれを承認可決した。

## 報告事項

### ①第1号報告 代表理事の職務執行報告と行事予定（4月、5月）の件

事務局長から、4月及び5月の各委員（部）会並びに学校協会等諸行事の予定を報告。

谷口会長から、4月4日（金）に関口副会長と一緒にいった公財）柔道整復研修試験財団の今別府代表理事との柔道整復師国家試験に係る意見交換の概要報告が行われた。

続いて、議長が質問並びに意見を求めたところ、出席理事全員異議なく報告のとおり了承された。

### ②第2号報告 各委員会等

#### ア. 教育支援委員会教科書部会

齊藤理事から、3月24日（月）、25日（火）の両日に行われた柔整理論の教科書に掲載されている検査法動画の撮影概要を報告。

#### イ. 教育支援委員会教員研修等部会

伊藤理事から、資料に基づき令和7年度の学校運営改善等助成事業助成金の交付決定結果を報告。

また、大麻理事から、教員研修会における宿泊ホテルの確保の困難性から、今後は、土日開催ではなく平日やハイブリッドによる、また、学校における開催についての提案があり、教員研修等部会において検討することとなった。

#### ウ. 教育支援委員会専科教員認定講習部会

奥田理事から、議事録に基づき5月11日（日）に予定されている講習会受講試

験の説明と対応する役員への依頼があった。

また、廣岡理事から、小論文の実施方法について見直しの提案があり、来年度以降の実施に関して改めて部会において検討することとなった。

エ. 教育支援委員会柔道整復師国家試験模擬試験部会

齊藤理事から、議事録に基づき模擬試験実施後のアンケート結果を報告。また、国家試験と模擬試験の結果の相関性について調査しているところとの報告があり、部会員の学校においては「ほぼ相関性は見られる。」との意見であった旨を報告。

オ. 広報・調査委員会

大麻理事から、4月15日（火）に開催された部会の概要報告と今年度の「入学者の構成に関するアンケート調査」への協力の依頼があった。

また、専科教員認定講習会の受講者を増やすための取組として、受講者に対するアンケートに講習会の認知方法の追加を専科教員認定講習部会に依頼した旨を報告。

カ. 柔道委員会

廣岡理事から、4月24日（木）に第1回目の委員会を開催する旨を報告。

キ. 組織運営委員会

田中理事から、議事録に基づき6月5日（木）に予定されている第1回オンラインセミナーについて説明。講師からの依頼により、会員校に対して臨床実習の具体的内容を調べることにしており、その結果も含め次回5月の理事会において詳細を示す旨を報告。

また、例年作成している会員名簿について、今年度は5月末までに発行する旨を報告。

続いて、議長が質問並びに意見を求めたところ、出席理事全員異議なく報告のとおり了承された。

③第3号報告 関連団体

ア. (公財)柔道整復研修試験財団

関口副会長から、連休明け辺りから動きが出てくるので、今のところは特にないとの報告。

イ. (一社) 日本柔道整復接骨医学会  
特になし。

ウ. (公社) 日本柔道整復師会  
特になし。

エ. (一社) 柔道整復教育評価機構

関口副会長から、学校協会の理事会の直前に評価機構の事業実施委員会を開催し、7年度の評価事業は九州医療スポーツ専門学校を予定しており、準備を進めている旨を報告。

また、学校評価ガイドラインが改訂されるので、評価項目を夏ぐらいまでに整理するとの報告。

オ. 厚生労働省

事務局長から、資料に基づき令和7年4月1日付医政局医事課関係者の人事異動を報告。

カ. 文部科学省

関口副会長から、学校評価ガイドラインについては、文部科学省から最終案の確認があったところで、順調に進めば連休前にガイドラインと新しい評価の方向性が示され、細部については6月頃に公表予定であるとの報告。

また、文部科学省において、日本の国家資格を取得した留学生には就労を認める方向の動きが出てきているとの報告。

#### ④第4号報告 その他

事務局長から、資料に基づき(公社)日本柔道整復師会第45回北信越学術大会福井大会の後援名義使用許可依頼を報告。使用許可については了承された。

また、会員校の人事異動に伴う正会員校名簿及び理事長、校長、正会員名簿について報告。

続いて、議長が質問並びに意見を求めたところ、出席理事全員異議なく報告のとおり了承された。

以上をもって議案の審議等を終了したので、16時13分、議長は閉会を宣し解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した会長、副会長及び監事は記名押印する。

令和7年4月18日

会 長 谷 口 和 彦 印

副 会 長 関 口 正 雄 印

監 事 米 田 忠 正 印

監 事 清 水 尚 道 印



# 公益社団法人 全国柔道整復学校協会

## 令和7年度 第2回理事会議事録

1. 開催された日時 令和7年5月16日（金）14：00～15：55

2. 開催された場所 全国柔道整復学校協会事務局  
東京都港区浜松町1-6-2丸神ビル1階

3. 理事総数及び定足数 総数 9名、定足数 5名

4. 出席理事数 9名

5. 議長 会長 谷口和彦

### 6. 議題

#### 協議・決議事項

第1号議案 令和6年度決算報告書案の件

第2号議案 定時総会等の開催の件

第3号議案 柔道整復学教育モデル・コア・カリキュラム策定の件

第4号議案 委員会委員人事の件

#### 報告事項

第1号報告 代表理事の職務執行報告及び行事予定（5月、6月）の件

第2号報告 各委員会等

第3号報告 関係団体

第4号報告 その他

### 7. 議事の経過及びその結果

#### (1) 定足数の確認等

冒頭で事務局長より、オンラインによる出席を含めて理事総数9名中全員が出席であること、したがって、開催要件の定足数たる過半数5名以上の出席を充足していることを確認した。

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

定款第32条の規定に基づき、谷口会長が議長として本会議の成立を宣した。

議事録署名人は定款第33条第2項の規定に基づき、谷口会長、関口副会長、米田監事及び清水監事とし、議案の審議に移った。

協議・決議事項

①第1号議案 令和6年度決算報告書案の件

事務局長から、資料に基づき令和6年度決算報告書案（貸借対照表、損益計算書及び財産目録）の説明がなされ、続いて監事より財務状況について適正との監査報告が行われた。

議長は、本議案について議場に諮ったところ、出席理事全員異議なくこれを承認可決した。

②第2号議案 定時総会の開催の件

事務局長から定時総会の開催案が説明され、谷口会長から定款第14条の規定に基づき、6月20日に令和7年度定時総会を開催するとの提案が行われた。

なお、総会の議題は、定款第36条第2項の規定に基づき、本理事会で承認可決された「令和6年度決算報告書案の承認」一題との説明。

議長は、本議案について議場に諮ったところ、出席理事全員異議なくこれを承認可決した。

また、同日開催の次回理事会については、谷口会長の提案により学校協会の会議室においてハイブリッド方式により開催することとなった。

③第3号議案 柔道整復学教育モデル・コア・カリキュラム策定の件

伊藤理事から、前回のパイロット版から精査した案について、その構成と内容の概要説明があった。

谷口会長から、今後の進め方について、まずは理事所属校で今回の案に対して先行して内容を確認し、6月20日の会員協議会で会員校に示して意見を集約する。その後、大学や非会員校にも意見を求めるスケジュールの確認があった。

議長は本議案について議場に諮ったところ、出席理事全員異議なくこれを承認可決した。

④第4号議案 委員会委員人事の件

廣岡理事から、柔道委員会の湊谷委員の所属確認について、京都医健専門学校とすることの報告があり、事務局長からは、欠員となっていた教科書部会の河原医療福祉専門学校の委員の後任が選任されたことの報告があった。

議長は、本議案について議場に諮ったところ、出席理事全員異議なくこれを承認可決した。

## 報告事項

### ①第1号報告 代表理事の職務執行報告と行事予定（5月、6月）の件

事務局長から、5月及び6月の各委員（部）会並びに学校協会等諸行事の予定を報告。

続いて、議長が質問並びに意見を求めたところ、出席理事全員異議なく報告のとおり了承された。

### ②第2号報告 各委員会等

#### ア. 教育支援委員会教科書部会

齊藤理事から、3月24日、25日の両日に撮影した柔整理論の教科書用の検査法動画について、現在編集作業を進めており、6月19日開催予定の部会において内容を確認し、早急に確定させたいとの報告。

#### イ. 教育支援委員会教員研修等部会

伊藤理事から、第1回実行委員会の議事録に基づき教員研修会の開催に向けた調整状況等を報告。

#### ウ. 教育支援委員会専科教員認定講習部会

奥田理事から、5月11日に実施した受講試験について、14日開催の部会における合否判定の結果として、東京会場が21名、大阪会場は26名の受験に対し、全員が合格したとの報告。また部会においては、小論文の評価基準、面接の実施方法や東京会場の実施体制（校数）についても意見が出されたが、引き続き検討していくとの報告があった。

#### エ. 教育支援委員会柔道整復師国家試験模擬試験部会

齊藤理事から、6月20日に予定されている会員協議会において、今年度の模擬試験の募集要項を示すとの報告があった。

#### オ. 広報・調査委員会

大麻理事から、会員校に対する「入学者の構成に関するアンケート調査」が5月7日に開始されており、同アンケートへの協力依頼があった。

カ. 柔道委員会

廣岡理事から、第1回目の委員会議事録に基づき今年度大会の運営方針や現況の報告があった。

キ. 組織運営委員会

田中理事から、6月5日（木）に予定されている第1回オンラインセミナーについて、役員に対しても参加要請があった。また、年2回開催することとしており、次回は3月頃にテーマは「遠隔授業」とし、7月の委員会で検討するとの報告があり、映像としての残し方についても今後検討していくこととなった。

続いて、議長が質問並びに意見を求めたところ、出席理事全員異議なく報告のとおり了承された。

③第3号報告 関連団体

ア. (公財) 柔道整復研修試験財団

関口副会長から、昨日の財団の常任理事会において、4月に国家試験の合格率に関して学校協会と意見交換を行ったことを報告し、柔道整復師の合格率が他職種に比べて乱高下している事態に財団としてどう対応するのかを求めたところ、次回の理事会で取り上げ、中期的に検討していくこととなったとの報告。また、常葉大学が認定実技審査の受審を辞めたことにより、受審大学がなくなったと報告があった。

イ. (一社) 日本柔道整復接骨医学会

特になし。

ウ. (公社) 日本柔道整復師会

特になし。

エ. (一社) 柔道整復教育評価機構

関口副会長から、

- ・本日午前中の理事会において、令和6年度の事業報告書と決算報告書の案が承認されたこと、
- ・7年度の評価事業は九州医療スポーツ専門学校を予定していること、
- ・7年度の評価基準は6年度版（分野別）を踏襲し、学校評価ガイドラインの改訂に伴う対応は8年度からとし、統合版の全面改訂作業を進めるとの報告があった。

オ. 厚生労働省  
特になし。

カ. 文部科学省

関口副会長から、

- ・学校評価ガイドラインの公表が遅れているが、来週中には最終決定がなされて公表される予定であること、
- ・第三者評価の義務化については、外国人留学生キャリア形成促進プログラム認定校、高度専門士課程と専攻科の約600校が令和8年度から、職業実践専門課程は令和13年度から義務化される予定であること

との報告があり、学校教育法の関係通知は6月末までに示される予定となっているとの報告。パブコメを募集するために開示されるものも固まっており、6月20日の会員協議会で示せるとの報告であった。

#### ④第4号報告 その他

伊藤理事から、科研費による「第三者評価における課題解決」のキックオフミーティング資料の案についての報告があった。

次に事務局長から、会員校の人事異動に伴う「理事長、校長、正会員名簿」について、前回からの追加分の報告があった。

続いて、議長が質問並びに意見を求めたところ、出席理事全員異議なく報告のとおり了承された。

以上をもって議案の審議等を終了したので、15時55分、議長は閉会を宣し解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した会長、副会長及び監事は記名押印する。

令和7年5月16日

会 長 谷 口 和 彦 印

副 会 長 関 口 正 雄 印

監 事 米 田 忠 正 印

監 事 清 水 尚 道 印

# 令和7年度 第1回教育支援委員会 専科教員認定講習部会 議事録

日 時 令和7年4月7日（月）13：00～15：00  
会 場 （公社）全国柔道整復学校協会事務局  
出席者 4名

## 議 題

- (1) 受講試験問題の策定
- (2) 受講願書の審査
- (3) 試験委員の人選
- (4) 専科教員認定講習部会スケジュールの確認
- (5) その他

## 配布資料

- 資料①受講試験問題（案） ※会議終了後に回収した。  
資料②受講試験申込者一覧 ※会議終了後に回収した。  
資料③試験委員一覧  
資料④令和7年度専科教員認定講習会実施スケジュール（予定）  
資料⑤現場教育実習要領  
資料⑥経理計画書

## 会議内容

- (1) 学科試験の策定
  - ・ 受講試験問題（案）の52問として柔道整復学の総論、上肢の骨折・脱臼各論、下肢の骨折・脱臼各論、軟部組織損傷各論を各担当で各々が13問ずつ作成し3月末日までに事務局に提出した。
  - ・ 提出された試験問題を各担当が作成担当外の試験問題を閲覧し、基本的な書式の統一、問題順の整理、誤字・脱字の訂正などをおこなった。
  - ・ 最後に52問中から適正とされる50問を選定し、最終確認として試験問題の体裁を整えた。
- (2) 受講願書の審査
  - ・ 東京会場の出願数21名、大阪会場の出願数27名中、大阪会場への出願者1名の書類が

整わないため、本日中に未提出分が届かなければ、本年度の受験は見送ることとした。  
提出が間に合わなければ大阪会場の出願数は26名となる。

### (3) 試験委員の人選

- ・昨年度と概ね同様であるが、東京会場の面接試験は2ブース、大阪会場は3ブースとすることで、面接者数をほぼ均等にして実施することとした。
- ・会場  
東京会場 東京メディカル・スポーツ専門学校 大阪会場 明治東洋医学院専門学校
- ・試験総括者  
東京会場 奥田 久幸 担当理事 大阪会場 廣岡 聡 理事
- ・小論文試験委員  
東京会場 関口 正雄 副会長 大阪会場 谷口 和彦 会長  
伊藤 譲 副担当理事 武田 大輔 校長
- ・面接試験委員  
東京会場 奥田 久幸 担当理事 大阪会場 北野 吉廣 副部長  
川口 央修 部長 清水 尚道 理事  
永野 修 委員 葉山 直史 委員  
入江 浩正 委員  
藤原 清治 委員  
三澤 圭吾 委員

### (4) 専科教員認定講習部会スケジュールの確認

- ・4月14日（月）の第2回専科教員認定講習部会は、願書の審査が終了したことからスケジュールから削除することとした。
- ・12月10日（水）の第7回専科教員認定講習部会に、次年度の東京会場の主幹校と協力校の代表者に参加いただき、大阪会場は副部長に参加いただくこととした。したがって第6回専科教員認定講習部会は、理事会に備えて各会場の主幹校と協力校の確認のみとして、担当理事・副担当理事・部長・副部長での会議とした。

### (5) その他

#### ①現場教育実習要領

- ・現場教育実習は実技実習を実施することとして、講義実習は各会場の講義の中で行うこととした。
- ・上記の内容に準じて現場教育実習要領に修正を加えた。

#### ②経理計画書について

- ・事務局長より様式の修正ならびに提出方法に一部変更があったことが報告された。

以 上

# 令和7年度 第2回教育支援委員会 専科教員認定講習部会 議事録

日 時 令和7年5月14日（水）13：00～14：00  
会 場 （公社）全国柔道整復学校協会 会議室  
出席者 4名

## 議 題

- (1) 受講試験問題の精査について
- (2) その他

## 配布資料

- (1) 受講試験成績一覧表
- (2) 受講試験問題解答付 ※会議終了後に回収した。
- (3) 成績集計分析データ（会場毎に得点順・受験番号順の結果一覧、問題毎の正答率・識別係数等の結果一覧）※ 正答率の分析後に回収した。オンライン参加者はデータを消去した。

## 会議内容

合否判定会議前に受講問題の精査をおこない、東京と大阪の各会場での正答率30%未満の3問について正答を確認したが、特に正答の変更は無かった。また、大阪会場で疑義を指摘された問題に関して検討したが、各会場において正答率も高く、変更の必要はなしと判断した。

東京会場：学科試験報告書より

受験希望者 21 名、欠席者 0 名で受験票忘れは無かった。試験中の離席・問題に対する質問・不正行為も無かった。

大阪会場：学科試験報告書より

受験希望者 26 名、欠席者 0 名で遅刻、受験票忘れは無かった。学科試験問題に疑義を指摘されたが、上記のとおり特に採点に関して修正の必要は無かった。

以 上

# 令和6年度 第2回教育支援委員会 柔道整復師国家試験模擬試験部会 議事録

日 時 令和7年3月25日（火）11：00～12：00  
会 場 （公社）全国柔道整復学校協会（基地局） オンライン会議  
東京呉竹医療専門学校  
出席者 13名

## 議 題

- (1) 令和6年度模擬試験実施後アンケート報告
- (2) 令和7年度実施計画の検討
- (3) その他

## 配布資料

- (1) 令和6年度 全国柔道整復学校協会統一模擬試験後アンケート結果

## 会議内容

- ・ 谷口会長より会議開催に際し挨拶があった。  
収益事業のため参加校を増やす必要がある。内容をより充実させる必要がある。
- ・ 続いて、齋藤担当理事より挨拶があった。  
受験者数が減少している原因の一つに、成績データ返却の遅れが指摘されていた。  
今年度は年末までに成績データの返却ができた。  
模擬試験と国家試験結果との相関性を上げていきたい。

## 議題

- (1) 令和6年度模擬試験実施後アンケート報告（杉山）  
配布資料：アンケート結果（39校参加/39校回答）について報告があった。  
アンケート項目
  1. 実施時期について  
ちょうど良い：約84%
  2. 難易度について  
ちょうどよい約84%

#### 作問についての発言

部会員：作問の仕方については今回の模擬試験用に作問された先生と各校の模擬試験等を活用した先生との回答があった。

#### 3. 返却された成績データについて

充分約95%

部会員

データ作成期間に問題は無かった。作業を円滑に行うためにマークシート作業から一括で実施したい。

#### 4. 来年度の参加について

約84%参加予定

参加を希望した学校は84%（1,170名）となった。※未定とした人数は含まない  
非会員校から9校（大学も含む）の参加があった。

谷口会長

- ・参加校数の向上のため、国家試験との相関性を各校で調べてほしい。
- ・模擬試験が学校協会の収益事業に該当する。多くの学校様が参加していただくために、国家試験結果との模擬試験結果との相関等、模擬試験の魅力を実証化しアピールするためにデータ提出の協力をお願いしたい旨の説明があった。

部会員

- ・総得点140点以上を取れている学生は国試でも合格している。
- ・国家試験結果で0.9の相関があった。
- ・模擬試験と国家試験結果との相関等の関係について部会員校からのデータ提出について賛同が得られた。

#### (2) 令和7年度実施計画の検討

概ね令和6年度実施を踏襲することとする。

詳細は次回部会にて決定する。

#### (3) その他

部会員

- ・各校模擬試験実施後の問題回収、試験実施期間終了後に再配布について試験実施後速やかに振り返りをするために問題回収はしないとの提案があった。

谷口会長

試験実施期間が約4週とあり問題流出の危険性が高くなる。

公平性を帰すため問題流出を防ぐ必要がある。

問題再配布までの期間を短くするために試験実施期間を短くしてはどうかとのアドバイスが谷口会長からあった。

部会員

- ・今年为国家試験で出題が無かった柔道からの出題はどうするのか。

谷口会長

- ・国家試験問題の作成はガイドラインに沿って作成される事を鑑み、出題基準にそった出題をお願いしたい。

試験実施の詳細については次回会議に決定する。

次回会議予定は5月中旬とする

補足 1. 作問について

オリジナル問題 70%

国家試験改編問題 30%

国家試験改編問題作成の規定

- ①選択肢については2つ以上変更する。
- ②解答を変更した改編については稲岡先生から提供いただいた資料の正答率等のデータを勘案し作成すること。
- ③「問題文の聞き方を変える」についてはオリジナル問題とする。

以 上

# 令和7年度 第1回広報・調査委員会 議事録

日 時 令和7年4月15日（火）14：00～16：00  
会 場 ZOOMによるオンライン会議  
出席者 10名

## 議 題

- (1) 前年度及び前回委員会議事録の確認
- (2) 広報業務について
- (3) 調査業務について
- (4) その他

## 配布資料

1. 前年度同月実施回の議事録及び前回の議事録 資料1
2. 柔道整復学校協会会報誌掲載順リスト240401更新 資料2
3. 会報誌裏表紙用専科教員認定講習会ポスター2025年7月発刊第75号 資料3
4. 教員紹介リレー前号掲載内容2025年4月発刊第74号 資料4
5. 会報誌目次案2025年7月発刊第75号 資料5
6. 専科教員認定講習会の認知度向上及び受講生獲得に向けた対策案 資料6
7. 柔道整復学校協会加盟校を増やすために 資料7
8. 令和7年度入学者の構成に関するアンケート調査 資料8
9. 令和7年度広報・調査委員会事業計画書 資料9
10. 令和7年度第2回委員会開催計画書 資料10

## 会議内容

冒頭、大麻担当理事から挨拶及び各委員から各校の近況の報告を行った。

- (1) 前年度及び前回委員会議事録の確認  
資料1を参照し、前年度同月実施回の議事録及び前回の議事録を確認した。
- (2) 広報業務について  
会報誌第75号（令和7年7月発行予定）について  
①資料2を参照し、「わが街の見どころ聞きどころ」担当校の日本柔道整復専門学校

への依頼を確認した。編集後記は、亀井委員が担当する。原稿の提出締切りは、6月中旬とする。

佐藤委員から、これまで同じ発行月に編集後記を担当しているの、担当者の順番を変更してはどうかと意見があり、会報誌第76号（令和7年10月発行）の編集後記の担当者を廣木委員長に変更することで決定した。

②資料3を参照し、裏表紙用の専科教員認定講習会の募集案内を確認した。今後は表紙の色見で裏表紙も塗り、その上に背景無しの文字・画像を掲載することとなった。また、掲載する文言は以下のとおり。

- a) 4月発刊号（グリーン）：「2025年度受講生の募集は終了いたしました。次年度の詳細は、2026年3月頃に学校協会ホームページにて公開の予定です。」
- b) 7月発刊号（ブルー）：「詳細は、2026年3月頃に学校協会ホームページにて公開の予定です。」
- c) 10月発刊号（オレンジ）：募集の概略を記載のうえ、「詳細は、2026年3月頃に学校協会ホームページにて公開の予定です。」
- d) 1月発刊号（ピンク）：募集の詳細を記載。

③資料4を参照し、教員紹介リレーについて、会報誌第74号の掲載内容及び会報誌第75号の執筆者（森ノ宮医療学園専門学校 葉山直史先生）を確認した。

④資料5を参照し、目次案を確認した。

野田事務局長から、令和7年度学校運営改善等助成金事業の交付決定状況に関する報告を追加する旨の説明があった。

#### 専科教員認定講習会の認知度向上及び受講生募集増について

資料6を参照し、専科教員認定講習会（以下「講習会」という。）について、受講生減少の原因、今後の改善案等を確認した。

大麻理事から、以下の説明があった。

- ・鍼灸柔整新聞の広告掲載は、受講生増加の効果がみられないようであれば今後の継続について検討する。
- ・全国のハローワークや養成校での講習会案内の配布、施術所へのDM送付に関しては、費用対効果を考えて検討が必要である。
- ・会員校の同窓会組織で講習会案内の配布の協力が得られるのであれば、実施に向けて準備したい。

委員から、以下の意見が挙げられた。

- ・講習会受講に関する疑問を解決するためのQ&Aを学校協会ホームページに設けてはどうか。
- ・鍼灸柔整新聞の広告掲載の効果は、継続して様子を見てはどうか。
- ・DM送付は、費用対効果が悪いのではないか。

- ・講習会案内の配布は、費用負担がなければ同窓会組織の協力を得られる。
- ・鍼灸柔整新聞の掲載を継続しない場合は、接骨医学会誌への掲載を検討してはどうか。
- ・講習会終了時に行うアンケートに、講習会をどの様に知り得たかを問う項目を追加してはどうか。
- ・教員を養成することの意義や重要性を発信してはどうか。
- ・学校協会の講習会で専科教員資格を取るメリットを発信してはどうか。

大麻理事から、講習会Q&Aを学校協会ホームページに掲載、講習会受講に関するアンケートの実施、会員校の同窓会組織で講習会案内の配布について、準備を進めることの説明があった。

講習会受講に関するアンケートは、実施の可否と実施時期について、大麻理事から専科教員認定講習部会奥田理事へ確認する。

講習会Q&Aの掲載は、片橋委員、宮崎委員が担当する。

案内広告の配布は、大麻理事、廣木委員長、鹿庭副委員長、野田事務局で実施に向けて継続して検討する。

#### 柔道整復学校協会加盟校を増やすために

資料7を参照し議論を行い、委員から以下の意見が挙げられた。

- ・学校協会の会員校だからこそ行っている活動や業務を発信してはどうか。
- ・会員校間の連携の強化や各委員会や部会の活発化を図り、学校協会に加盟するメリットを発信してはどうか。
- ・会員校を対象としたテーピング等の固定材料の取り扱いと販売の案は、実施に向けて進めてはどうか。
- ・今後の第三者評価の義務化を見据え、学校協会から非会員校に対して柔道整復教育評価機構の第三者評価についての情報を発信してはどうか。

大麻理事から、固定材料の取り扱いと販売について東洋療法学校協会の事例を基に説明があり、その他の意見も合わせて理事会で提案したい旨の説明があった。

### (3) 調査業務について

#### 令和7年度入学者の構成に関するアンケート調査について

資料8を参照し、鹿庭副委員長から令和7年度入学者の構成に関するアンケート調査の実施概要について以下の報告があった。

- ・昨年度と同じスケジュールで実施する。
- ・事前アンケートの項目、調査アンケートの項目は変更なし。
- ・事前アンケートは、5月初旬から中旬の期間で実施する。
- ・アンケート調査は、6月中に実施する。

- ・アンケート終了後の集計及びグラフ化の作業は、8月中の完了を予定する。
- ・非会員校を対象とした協力依頼の回答手段について、これまでは、学校協会事務局へメール返信もしくはファックスであったが、今年度から-googleフォームによる回答に変更する。

(4) その他

なし

次回委員会について

令和7年度第2回広報・調査委員会は、令和7年7月15日（火）14時から16時に対面形式（オンライン併用）にて開催する。

議題は、会報誌第76号について、卒業生のキャリア（ホームページ掲載内容）について、入学者の構成に関するアンケート調査について、他を予定している。



---

# 令和7年度 第1回柔道委員会 議 事 録

---



日 時	令和7年4月24日（木）15：00～17：00
会 場	（公社）全国柔道整復学校協会 会議室
出席者	7名（委員6名）

## 議 題

- (1) 大会形式について
- (2) 大会係員分担について
- (3) その他

## 会議内容

- (1) 大会形式について
  - ・例年通り男子5人制、男子3人制、女子3人制で行う予定だが参加校アンケートを実施し参加校の数により試合形式（リンク戦またはリーグ戦）を検討していく。
  - ・参加校アンケートを例年、FAXで回答を回収していたが今年度からはグーグルフォームを使用しアンケートを実施する。
  - ・形演武は昨年度と同じく手技、腰技、足技で実施する。
  - ・試合場は形演武の出場者が増加しているため6面づくり試合は4面を使用し行う。
  - ・来年度も東京武道館で優先予約の申し込みを行う。
- (2) 大会係員分担について
  - ・各部署の担当は引き続き前年度と同じで行う。
  - ・学生係員は赤羽先生に招集してもらう。
- (3) その他
  - ・形演武の選手に授与するものを楯から賞状に変更する（演武者2名に賞状を授与する）
  - ・賞状の文面を考え事務局に提出する。
  - ・応援の方などパンフレットが必要な方のために会場にQRコードを掲示し携帯などでパンフレットが閲覧できるように対応する。
  - ・保険加入の関係上、事前登録している選手以外は原則、試合に出場することはできない。

- ・今年度の大会は国際審判規定の新ルールで行う。
- ・新ルールになるため今年度から Jury をつけて試合を行う。
- ・ Jury をつけるが審判員の数は増やさず前年度と同じ人数で行う。
- ・前年度まで優勝校から最優秀選手 1 名、準優勝・3 位から優秀選手をそれぞれ 1 名ずつ選出していたが今年度からは優勝校から最優秀選手 1 名、準優勝から優秀選手 1 名を選出し 3 位の優秀選手はなしとする。
- ・参加人数が少ないため監督、選手の ID を廃止し試合場の出入りを自由とする。
- ・大会当日の選手、一般の開場を 9 : 00 にする。

以 上

# 令和7年度 第2回柔道委員会 議 事 録

日 時 令和7年5月29日（木）15：00～17：00  
会 場 （公社）全国柔道整復学校協会 会議室  
出席者 7名（委員6名）

## 議 題

- (1) 大会準備について
- (2) 大会運営について
- (3) その他

## 会議内容

- (1) 大会準備について
- (2) 大会運営について

### 【アンケート集計結果】

- ・男子5人制12校、男子3人制12校、女子3人制8校、形演武13校の参加希望があった。不参加校の理由について『選手がいない』が16校、『選手が足りない』が2校、その他の理由として『東京に学生を派遣できない』、『定期試験と日程がかぶっている』、『学業優先』、『試験期間中である』、『授業日のため』との回答があった。

### 【試合形式について】

- ・前年度と参加校数がほぼ変わらないため前年度と同じリンク戦の4会場で行うこととした。
- ・形演武の出場数が前年度より増えたため3回に分けて演武を行う。今後、参加数の増減の可能性があるため選手登録後切後の状況を踏まえ形演武の進行方法を検討していく。
- ・審判規定が改定されたため新ルールと申合せ事項で行うが『韓国背負い』の取り扱いに関しては下地審判長の意見を参考に今後検討していく。

### 【係員派遣について】

- ・前年度35名の係員から今年度は32名の係員で運営していく。
- ・日本柔道整復専門学校、日本総合医療専門学校の学生に係員を依頼する。

**【審判員依頼について】**

- ・ 1 試合場ジュリーを含む 6 名の審判員で行い計 24 名の審判員で調整し、謝金については交通費込みで 1 万円を支給する。
- ・ 審判長は昨年と同様に下地先生に依頼する。
- ・ 例年、参加校からの推薦審判員がほとんどいないため今年度から推薦審判員を廃止し都柔整に依頼した審判員で調整していく。

**【前日準備について】**

- ・ 研修室の設営は 15 時から行う。

**【大会当日の日程について】**

- ・ 係員入場（8：00）、選手、一般の開場（9：00）、審判会議（9：15）、開会式（10：00）、閉会（15：00）

**【監督会議について】**

- ・ 監督会議は大会前日の 16 時から行う。

**【パンフレットについて】**

- ・ 昨年度と同様に PDF で配信を行う。7 月末に学校協会 HP で配信を行う。

(3) その他

**【令和 8 年度柔道大会について】**

- ・ 令和 8 年度東京武道館優先予約を下記日程で申し込みすることとした。

第 1 希望：8 月 4 日（火）

第 2 希望：8 月 5 日（水）

第 3 希望：8 月 6 日（木）

第 4 希望：8 月 19 日（水）

第 5 希望：8 月 20 日（木）

以 上

# 令和6年度 第3回組織運営委員会 議 事 録

日 時 令和7年3月28日（金）13：30～15：00  
会 場 （公社）全国柔道整復学校協会 対面とリモート会議併用  
出席者 7名

## 議 題

- (1) 研修会の日程及び運営などについて
- ①開催日時 資料2部
  - ②研修内容及び運営方法 資料3部
- (2) 会員校名簿の作成について 資料3部、会員校一覧1部
- (3) その他 令和7年度委員名簿一覧1部

## 会議内容

- (1) 研修会の開催について

資料1を参考に日時、講義内容について検討された。日時、研修内容は資料1通りで承認された。ただし質疑応答は講演①の後、約5分間、講演②の後、約5分間に変更となった。運営方法はオンライン形式、会場、講師①の榎木先生の謝礼金額についても承認された。

案内文書は4月21日（月）発送、出欠表は5月22日（木）を期限とする。

資料2のアンケート内容については、誤字の修正があった。「解答者→回答者」

質問5については質問事項がわかりにくいということで、「臨床実習の単位認定方法について」に修正された。

また、田中担当理事から提案があり以下の質問事項も追加することになった。

### ・外部臨床実習の実習内容について 【複数回答可】

1. 見学のみ
2. 受付業務、ベッドメイク
3. 物療機器の脱着
4. 診察の補助、検査法
5. 治療行為の補助（患者さんに直接触れる行為）

・臨床実習を企業連携の一つとして実施されているか。

1. はい
2. いいえ

企業連携の内容がわかりにくいという意見があったが、自己点検評価の以下の項目に臨床実習の記載があれば、企業連携を取っていると認められるということになった。

- ・学外実習、インターンシップ、海外研修等について外部の関係機関と連携し、十分な教育体制を整備しているか
- ・広く教育機関、企業・団体、および地域との連携・交流を図っているか

## (2) 会員校名簿作成について

令和7年度名簿の印刷・発行に向けて、資料を基に最終確認を行い、8名の委員で会員校を振分け分担をし、作成依頼から名簿提出まで担当することにした。

また、作成依頼を送付する際は、前年度同様に各担当者から、担当者名で、送付先アドレスを担当者のアドレスにして依頼し、担当校名簿データを辻井委員長にメールで提出することとした。依頼開始は4月21日（月）、各会員校の名簿提出期限は5月31日（土）とした。

<委員振分け区分：配布資料の会員校一覧番号より>

- ・佐々木委員 : 1～6
- ・霞委員 : 7～12
- ・アルファ医療 : 13～18
- ・伊藤副委員長 : 19～23
- ・藤井委員 : 24～28
- ・辻井委員長 : 29～33
- ・藤瀬委員 : 34～38
- ・小川委員 : 39～43

<送付内容>

- ・名簿作成について（依頼文）
- ・記入上の注意事項
- ・エクセルデータ

## (3) その他

令和7年度の組織運営委員会の委員の一部変更について説明があった。

次回、委員会開催は6月下旬を予定している。



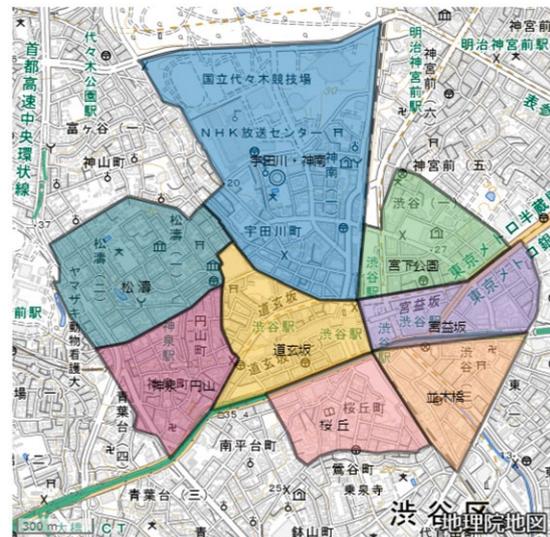
## 「変わりゆく渋谷を体感しませんか？」

日本柔道整復専門学校  
チーム花田

渋谷区は、2022年に区政90周年を迎えました。その中心である渋谷駅は多くの路線が集結し賑わう町が繋がります。山手線や埼京線と臨海線が乗り入れているJR線、私鉄の京王井の頭線、東急の東横線と田園都市線、東京メトロの銀座線や半蔵門線と副都心線があります。渋谷駅は、駅を含め周辺が100年に1度と言われる大構造改革中で、JR渋谷駅は2027年に改築が終わる予定です。

若者のマチ渋谷、ITなどのベンチャー企業も多くあります。昭和世代の「シブタニ」から平成世代の「渋谷系」「SHIBUYA109 ビルに集う若者が創り出した「渋谷カジ」など、新しい文化とも呼ばれる世界が創出されてきました。周辺には放射状に幹線道路があります。東京をほぼ環状に1周する明治通りや山手通りの他に、神宮外苑や皇居方面に向かう青山通り、途中には様々な大学があります。大学生がスポーツイベント後の飲み会で渋谷のセンター街に繰り出す風景は、昔からの風物詩と言えます。

1964年の東京オリンピックでは、都電を廃止し、国立競技場に向かうオリンピック道路が作られました。周辺の地政学的環境では、高級住宅街の松濤地域はNHKの近く、246号沿いには静かな佇まいの住宅地である南平台や青葉台があります。恵比寿方面に15分ほど歩くとおしゃれな街の代官山、さて本校のある桜丘町は、渋谷駅から5分位の場所にあります。





桜並木の「さくら坂」には、その季節になると、インバウンドの外国人を含め多くの人が集まりカメラの列となります。駅に至近の距離ではありますが静かな環境が維持されています。しかし、道行く人はかなり外国人も多くなりました。

今年になり学校までのアクセスが便利になる駅直結の新たな集合施設として「サクラ・ステージ」がオープンし、多くの人が観光に訪れてもいます。



渋谷を表す場所として、「スクランブル交差点」と「忠犬ハチ公」があげられます。信号が変わると様々な方向から行きかう人々、見守る「ハチ公」。外国人からすれば、多くの人があつたらずに対面にわたるミラクル交差点だそうです。ここも人気の撮影スポットであり是非、明るく魅力に富んだ渋谷を訪ねてください。

学校法人花田学園 日本柔道整復専門学校までのアクセス  
JR「渋谷駅」新南改札口から徒歩5分

★第11回★

# 教員紹介リレー



森ノ宮医療学園専門学校  
葉山 直史

(大阪府枚方市出身)



桑野幸仁先生、教員紹介リレーのバトンをありがとうございます。桑野先生には教育支援委員会教員研修等部会でたいへんお世話になっており、「バトン渡します!」と言われたら断る選択肢はありません。かといって、これまでバトンを繋いでこられた先生方のように読者の学びとなるようなことは私には書けませんが、今年7月に還暦を迎えるタイミングでいただいた話でもあり、この機会に私が柔道整復師、教員になった経緯について、薄れつつある記憶を辿って記していきたいと思います。

## ～ きっかけ ～

柔道整復の道に進んだきっかけは母の勧めでした。私自身は接骨院に行ったことがないどころか、世に接骨院が存在することさえ知らない高校生でした。ある日母のいとこが家を訪ねてきました。その方は(母曰く)資格を取るのが趣味で、後には仏門に入り僧となって出家するのですが、当時はちょうど柔道整復師の資格を取って千葉県の流山市で接骨院を開業されたところだったのです。昭和57～58年のことです。「僕は先生って呼ばれてるんだ。収入もいいんだよ。」といった会話を聞いた記憶がかすかに残っています。母は関節リウマチを発症し、父が勤めていた会社の別府温泉にある保養所で理学療法士の先生にお世話になったことがあり、そのとき「直史(私)にはこんな仕事がいいんじゃないか。」と思ったそうで、母の中でその思いと柔道整復師の二つが繋がったのでした。

## ～ 専門学校入学 ～

そして私は行岡整復専門学校(当時)に運良く入学します。しかし、接骨院に通ったことがなく、目標や志などなかったため、骨折や脱臼の話を読んでも興味が持てず、超低調な学生生活が始まりました。始業時に教務の先生が出席を取って教室を出たら、即教室を脱出し自由の身となる。授業を抜け出せなかったときは机の下でマンガを読み、脱出できないまま読み終わってしまったら寝るという日々でした。

因果応報。私は留年することとなりました。留年決定を告げられたとき、若き日の田中勇二先生に夕日の差しこむ二人きりの教室で懇々と励ましていただいたことを今もはつき

り覚えています。

2回目の一年生も勉強へのモチベーションはないままスタートしました。しかしここで一つ年下の友人たちに恵まれたことが私を柔道整復師の業界に留めてくれたのかもしれませんが。そのうちの一人が広島県出身の長岡正樹氏で、彼が卒業と同時に行岡に教務助手として入職したことにより、数年後に橋爪務先生の「専科教員認定講習、葉山君受けへんかな？連絡してみて。」という鶴の一声で想像もしなかった柔道整復教育に携わる道に繋がったのでした。卒業時の資格試験（当時は知事免許でした）前に同級生から「葉山は受からない。」と言われていたくらい最後までやる気のない学生だった私にそんな声がかかったのにはもう一つ理由があります。行岡の教務にいらした松野隆範先生の存在です。行岡を卒業して一年後、私は大阪鍼灸専門学校（現森ノ宮医療学園専門学校）に入学しました。鍼灸に進んだ理由は奇跡的に柔道整復師資格試験に合格したものの「身体のこと全然知らないのに患者さんをみるのは怖い。」と思ったからでした。そんな理由で入学したこともあり、「今度はまっとうに勉強しよう。」と思い、どうしたら自分が勉強するかを考え、「すべての授業のノートを自分でとる。」と決めました。恥ずかしい話ですが、小学校の頃から行岡時代まで、私はノートをきちんととったことがありませんでした。そんな私ですから授業に遅れたり、寝たりして、ノートに“空白”を作ったら、もうそれで続かなくなることを自覚していたので、ノートをとり続けるには“学校を休まない、遅刻しない、授業中に寝ない”ことが必要になりました。これが功を奏し、最初の定期試験で好成績を得ることができたのです。そんな私の様子を行岡の教務で働きながら大阪鍼灸専門学校の2学年上に在籍されていた松野先生が行岡で話してくださっていたそうです。なんてありがたい話でしょう。そしてそれが私の人生を大きく変えることになりました。

## ～ 教員に ～

大阪鍼灸専門学校が柔道整復学科開設の検討を学内で始めていたとき、当時の森俊豪副理事長、安雲和四郎校長に私が専科教員認定講習を受講済であることがたまたま伝わりました。大阪鍼灸専門学校で出席優秀、授業態度優秀、成績良好であった私は“真面目で優秀な人物”と認識（誤解）されていたことをそのとき知ることになります。「ぜひ常勤教員として学校に来てほしい。」と熱心に説得されたのです。私は正直に言いました。「僕に教えられることはなにも無いですよ。」。しかし、誤解は簡単に解けません。「君のことは3年間見て知っている（実際には2年半）。葉山君なら大丈夫!」。まだ葉山整骨院を開業して2年くらいのときでしたし、悩みましたが、私は大阪鍼灸専門学校に身を置かせていただくことにしました（2000年の柔道整復学科開設に伴って、大阪鍼灸専門学校は森ノ宮医療学園専門学校に改称されました。）。

その頃、ともに学科開設時からの教員となる吉川徹と川畑浩久に出会いました。彼らは大阪市北区にある行岡病院から「柔道整復の“匠の技”を理論として構築し、“技術”として伝えられる学校を作る」という思いを実現するために新設校に身を投じたのです。二人

に出会って、私は「こんな柔道整復師がいたのか。」と驚きました。もともと行岡病院は日本最初の柔道整復師養成校である大阪整骨学校の附属行岡外科病院として昭和9年に開設された病院で、「整復科」が置かれていました。繁華街近くに所在し救急病院でもある行岡病院には外傷患者が多く訪れるため、整復科の柔道整復師たちは日々、整復、固定、後療に忙しくしていました。そして吉川や川畑たちは自ら症例報告会を開き、知識、技術、経験の共有を図ってきた、いわば“本物”の柔道整復師だったのです。彼らが中心となって本校の教育方針は「骨折、脱臼などの外傷をきちんとみれる柔道整復師を育てる」ことに定まります。一方で、彼らに比べてそういった経験が乏しい私は彼らに圧倒されたのでした。

川畑は私の一学年下の年齢なのですが、留年した私と行岡の同期で、十余年ぶりの再会でした。学生時代、彼との交流は殆どなかったのですが「鹿児島から出てきたプロレス好きの男の子」として記憶していました。それが再会したら、「臨床経験豊富で、聡明、探求心が強く、後進の指導にも熱心」な柔道整復師になっていて、わが身を振り返り、行岡を卒業してからの自分の10年間はなんだったんだと呆然とする思いでした。吉川もそれに勝る臨床経験を持ち、人生経験も豊富な器の大きい人で、頭の回転が速く、面倒見も良かったので、私は彼らに何一つ適わないと打ちのめされる思いでした。なにしろ私は自分の視野を広げたり、良い先生と出会うことができるんじゃないかと考え、学校に入職しましたが、彼らは大きな理想をもち、その実現のために森ノ宮に来たのです。最初から次元が違ったのです。もちろん彼らは私にきつくあたるようなことはなく、逆に開設したばかりで次年度のことは走りながら決めていくような忙しい日々の中で、私が戦力になるように随分と助け、育てようとしてくれていたのですが、それがさらに彼我の差を痛いように感じさせ、私は体調を崩すことが増えたのです。あとで思えば“鬱”状態だったのでしょうか。体調を崩して欠勤することが度々あり、高熱で救急搬送され入院したこともありました。「迷惑ばかりかけて辞めたほうがいいんじゃないか」という考えが何度もよぎります。それでも教員を続けたのは「せっかく声をかけていただいて得たこの環境を自ら辞めることはすまい。」「吉川先生、川畑先生と同じことはできなくても、優先順位が低い仕事や作業があるし、誰かがやらないといけない。それなら自分にもできる。」という思いからでした。

1期生が2年生になり、私は「上肢疾患」という科目を担当しました。いつも四苦八苦しながら授業準備をしていた私に、ある日、川畑が「こんなんありますよ。行ってみたらどうですか。」と日本肩関節学会学術集会のことを教えてくれました。私は学会に行ったことがなく、しかも整形外科の学会ですので、不安と緊張を抱えながら単身横浜に向かいました。そこにまた私の人生にとって大きな出来事が待っていました。関目病院に勤務されていた宮崎義雄医師との出会いです。

関目病院は大阪市内にあり、阪神タイガースをはじめ多くのプロ、アマのスポーツ選手が来院し、院長の廣岡淳医師は選手のケガの解説をスポーツ新聞から求められるなど、関

西では広く知られた整形外科で、柔道整復師も多く在籍していました。

学会前夜、横浜に着いたのが22時を過ぎていたため、宿泊ホテルの建物内にある焼き鳥屋さんで食事をしようと入店。店員さんに誘導されるままにカウンターの席に座り、注文を終えた私に「どこから来られたんですか？」と突然男性が話しかけてきたのです。それが宮崎医師でした。以来「整形外科学」の授業を担当していただいたことに始まり、関目病院での実習、廣岡院長にも授業を担当していただくなど、関目病院と本校が連携させていただききっかけとなりました。授業を引き受けてくださる整形外科医がなかなか見つからないご時世でしたので、その後長きにわたり講義して下さったこともありがたかったのですが、私にとっては関目病院で多くの手術見学をさせていただき学ばせていただいたことが、大きな財産となりました。そして宮崎医師とは今も親しくさせていただいています。



18年前 アメリカ研修にて（隣は現学科長の外林先生）

### ～ やりがい ～

私は行岡の卒業前にクラスメートから「資格試験に受からない」と言われていたと書きましたが、その頃の授業について唯一覚えていることを紹介します。試験対策として○×問題が配られ、解答する時間が与えられます。四択問題ではなく、文章が箇条書きされていて、正しければ○を記入し、誤っていれば×をつけるものです。30～40問くらい並んでいたと思います。さすがに3年近く在籍しているので読めない語句はないのですが、正しいか誤っているかは一問も分からないのです。知らないことは考えても答えが出るわけではなく、そもそも考えようがありません。その時間は私にとって、ただただ時間が過ぎるのを待つだけの時間でした。その後、「わからないところは自分で調べなさい」と言われるのですが、残念なことに教科書のどこを見れば良いかも分からない。すべて自分に原因があるのですが、私にとっては苦痛な時間でした。

今から10年前、国試対策授業で学生に練習問題に取り組ませているとき、成績不振の学生が早々に終わってじっとしていました。それを見て私は「お前、そんな早く出来るわけないやん。もっと一生懸命やれよ。」と内心思ったのですが、「違う、あのときの俺と一緒に

や。頑張ろうにも頑張りがないんや！」と気がつきました。国試前の私の授業はその学生にとっては実りのあるものではなく、ただ耐えるだけの時間なのです。そう思うと、「よく毎日休まず遅刻もせず学校に来ているよな。寝たりもしないし、少なくともあの頃の俺よりは偉いな。」とその学生に対する見方が変わった瞬間でした。

そんな自身の経験や教員になってからの気づきもあり、国試前になっても成績が上がってこない学生に対して（もちろん本人の責によるところが大きいにしても）ここまで進級させた責任が私たちにもあると考えるようになりました。

学生は入学時に数十万円、卒業までに数百万円の学費を納め、また相当な時間を学校に費やします。だからといって、学校が学生をお客様扱いしてへりくだるような関係性は絶対違うと思いますが、入学を許可した以上、責任は生じます。なにより学生の人生に大きく関わっていることは間違いありません。

教員が長く在籍している一方で、学生は3年で卒業し、入れ替わっていくので、つい私たちが学校の主体という感覚で物事を捉えてしまいがちです。しかし、教員の仕事の成果は学生の成長で評価されますし、学校の評価は卒業生の活躍によって示される以上、学校の主人公は学生だと、常々意識するようになっています。

意識するといえば、授業で心がけているのは楽しむことです。授業は学生に伝わってなんぼと考えると、まず聞いてもらって、授業に参加してもらわないと始まりません。昔に比べて学生のやる気や学力が低いといわれますが、そんな学生に授業に参加してもらうには、楽しいと思ってもらうのがひとつの方法だと思うのです。“楽しい”といっても、私は他の教員のように面白いことを言うこともできなければ、授業もけっして得意ではありません。ですので、高望みはせず、私自身が授業を楽しみ、結果、学生に「ちょっと楽しいかも。」と思ってもらえたら十分と考えるようになりました。「教えるほうが楽しくなかったら、学生はもっと楽しくないですよ。」というのは授業に四苦八苦していた私への川畑からの助言ですが、最近になってようやく実感できるようになってきました。

思うように勉強してくれなくても、なんとか勉強してもらえるように工夫しながら授業を進める、これに少しでも反応してくれたら、それが楽しいし、嬉しい。授業中、学生が途中で寝たら、私の負け。工夫が足りなかった、または準備不足だったと反省します。

でも授業の最初から寝る学生には「出ていけ！」とガチギレします。自分の学生時代のことを棚に上げてガチギレするには理由があります。40年前と違い、それでは到底、国家試験に合格することは不可能で、それを放っておくのはお互いにとって不幸な結果を招くし、無責任だと思うからです。やる気のない学生を放置することでのクラスへの影響のことも少し考慮しています。ですので、叱ることで授業の雰囲気が悪くなることは避けたいと考えながらガチギレしています。

もうひとつ意識しているのは、ガチギレすることと矛盾するようですが、勉強しない学生が悪い、と決めつけないようにすることです。人が成長するタイミング、大人になる時期には個人差があります。「もっと自覚を持てよ！」とか「周囲に敬意や感謝の気持ちをも

てんか?」と苛立った気持ちになることもありますが、いつか芽を出してくれることを願いながら、種を撒くイメージを持って接するようにしています。



2025年3月 卒業式にて

### ～ 感謝 ～

さて、記憶を辿りながら書いているうちに、自分でも驚くほど長い文章になってしまいました。あらためて自分が多くの出会いや縁に恵まれて、今があることを再確認することができました。この場を借りて私に関わってくださったすべての方に感謝申し上げます。

文中でご紹介した廣岡淳先生が今年2月に逝去されました。廣岡先生が柔道整復教育に力を注ぎ、多くの柔道整復師を育てられたことに感謝し、御冥福をお祈りいたします。

### ～ 次回は… ～

私がバトンをお渡しするのは、米田柔整専門学校の上野啓司先生です。実は私は山本先生と親しくさせていただいたことはなかったのですが、私が尊敬する本校の教員が以前山本先生の下で働いており、彼から山本先生の話聞くうちに私もどんどん山本先生への尊敬の念が強くなりました。臨床経験が豊富なだけでなく、洞察力に優れた先生です。関西圏以外の教員のどなたかにバトンを渡してくださいといわれたときに、最初に思い浮かんだのが山本先生で、私の厚かましいお願いを快諾してくださいました。山本先生、どうぞよろしくお祈り申し上げます。

# 公益社団法人 全国柔道整復学校協会

## 正会員校要覧

令和7年4月1日現在

都道府県		学 校 名	所 在 地	TEL FAX
北海道 1校	1	公益社団法人 北海道柔道整復師会 附属北海道柔道整復専門学校	〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西18-1-15	011-642-0731 011-642-8455
岩手県 1校	2	学校法人 龍澤学園 MCL盛岡医療大学校	〒020-0021 岩手県盛岡市中央通3-3-4	019-652-1189 019-652-1198
宮城県 2校	3	学校法人 東北柔専 仙台接骨医療専門学校	〒983-0005 宮城県仙台市宮城野区福室3-4-16	022-258-6222 022-259-7511
	4	学校法人 赤門宏志学院 仙台赤門医療専門学校	〒980-0845 宮城県仙台市青葉区荒巻青葉33-1	022-222-8349 022-222-3797
福島県 1校	5	学校法人 平成医療学園 福島医療専門学校	〒963-8026 福島県郡山市並木3-2-23	024-933-0808 024-933-7887
群馬県 1校	6	学校法人 国際中央学園 中央スポーツ医療専門学校	〒371-0843 群馬県前橋市新前橋町21-16	027-253-1205 027-253-1230
埼玉県 2校	7	学校法人 大川学園 大川学園医療福祉専門学校	〒357-0016 埼玉県飯能市下加治345	042-974-8880 042-974-8884
	8	学校法人 呉竹学園 大宮呉竹医療専門学校	〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-185-1	048-658-0001 048-658-0005
東京都 11校	9	学校法人 花田学園 日本柔道整復専門学校	〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町20-1	03-3461-4740 03-3461-4733
	10	学校法人 呉竹学園 東京呉竹医療専門学校	〒160-0008 東京都新宿区四谷三栄町16-12	03-3341-4043 03-3358-3976
	11	学校法人 敬心学園 日本医専	〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-18-18	03-3208-7741 03-3208-6488
	12	学校法人 エイジェック学園 スポーツ健康医療専門学校	〒130-0026 東京都墨田区両国4-27-4	03-3846-5151 03-3846-5152
	13	学校法人 滋慶学園 東京メディカル・スポーツ専門学校	〒134-0088 東京都江戸川区西葛西3-1-16	03-5605-2930 03-5605-2932
	14	学校法人 片柳学園 日本工学院八王子専門学校	〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404-1	042-637-3111 042-637-3112
	15	学校法人 創志学園 日本健康医療専門学校	〒111-0053 東京都台東区浅草橋3-31-5	03-5835-1456 03-5835-1457
	16	学校法人 都築科学学園 関東柔道整復専門学校	〒190-0012 東京都立川市曙町1-13-13	042-529-6660 042-529-6665
	17	学校法人 小倉学園 新宿医療専門学校	〒160-0017 東京都新宿区左門町5番地	03-3352-6811 03-3352-6816
	18	学校法人 西田学園 アルファ医療福祉専門学校	〒194-0022 東京都町田市森野1-7-8	042-729-1026 042-721-8411
	19	学校法人 常陽学園 東京医療福祉専門学校	〒104-0032 東京都中央区八丁堀1-11-11	03-3551-5751 03-3551-5752
神奈川県 1校	20	学校法人 呉竹学園 横浜呉竹医療専門学校	〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-7-24	045-471-3731 045-471-3732
静岡県 1校	21	学校法人 森島学園 専門学校浜松医療学院	〒434-0038 静岡県浜松市浜名区貴布祢232-3	053-585-1333 053-585-1661

都道府県		学 校 名	所 在 地	TEL FAX
愛知県 3校	22	学校法人 米田学園 米田柔整専門学校	〒451-0053 愛知県名古屋市中区枇杷島2-3-13	052-562-1210 052-563-6495
	23	学校法人 滋慶コミュニケーションアート 名古屋医療スポーツ専門学校	〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄3-20-3	052-238-3463 052-238-3464
	24	学校法人 葛谷学園 中和医療専門学校	〒492-8251 愛知県稲沢市東緑町1-1-81	0587-23-5235 0587-23-5237
京都府 1校	25	学校法人 滋慶コミュニケーションアート 京都医療専門学校	〒604-8203 京都府京都市中京区衣棚町51-2	075-257-6507 075-257-6488
大阪府 7校	26	学校法人 関西医療学園 関西医療学園専門学校	〒558-0011 大阪府大阪市住吉区荻田6-18-13	06-6699-2222 06-6609-2118
	27	学校法人 明治東洋医学院 明治東洋医学院専門学校	〒564-0034 大阪府吹田市西御旅町7-53	06-6381-3811 06-6381-3800
	28	学校法人 平成医療学園 平成医療学園専門学校	〒531-0071 大阪府大阪市北区中津6-10-15	06-6454-1500 06-6454-1550
	29	学校法人 森ノ宮医療学園 森ノ宮医療学園専門学校	〒537-0022 大阪府大阪市東成区中本4-1-8	06-6976-6889 06-6973-3133
	30	学校法人 履正社 履正社国際医療スポーツ専門学校	〒532-0023 大阪府大阪市淀川区十三東1-21-23	06-6305-6592 06-6305-1692
	31	学校法人 近畿医療学園 近畿医療専門学校	〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満5-3-10	06-6360-3003 06-6360-3022
	32	学校法人 大阪滋慶学園 東洋医療専門学校	〒532-0004 大阪府大阪市淀川区西宮原1-5-35	06-6398-2255 06-6398-2225
兵庫県 1校	33	学校法人 神戸創志学園 関西健康科学専門学校	〒659-0065 兵庫県芦屋市公光町1-18	0797-22-7221 0797-22-9333
岡山県 1校	34	学校法人 朝日医療学園 朝日医療大学校	〒700-0026 岡山県岡山市北区奉還町2-7-1	086-255-2000 086-255-2010
広島県 1校	35	学校法人 IGL学園 IGL医療福祉専門学校	〒731-3164 広島県広島市安佐南区伴東1-12-18	082-849-5001 082-849-5115
香川県 1校	36	学校法人 大麻学園 四国医療専門学校	〒769-0205 香川県綾歌郡宇多津町浜五番丁62-1	0877-41-2320 0877-41-2322
愛媛県 1校	37	学校法人 河原学園 河原医療福祉専門学校	〒790-0014 愛媛県松山市柳井町3-3-13	089-946-3388 089-946-4555
福岡県 4校	38	学校法人 福岡医療学院 福岡医療専門学校	〒814-0005 福岡県福岡市早良区祖原3-1	092-833-6120 092-833-6516
	39	学校法人 滋慶学園 福岡医療・スポーツ専門学校	〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町7-30	092-262-2119 092-262-8669
	40	学校法人 都築学園 福岡天神医療リハビリ専門学校	〒810-0004 福岡県福岡市中央区渡辺通4-3-7	092-738-7823 092-738-8584
	41	学校法人 国際志学園 九州医療スポーツ専門学校	〒802-0077 福岡県北九州市小倉北区馬借1丁目1-2	093-531-5331 093-531-5332
佐賀県 1校	42	学校法人 九州アカデミー学園 九州医療専門学校	〒841-0027 佐賀県鳥栖市松原町1709-2	0942-81-3131 0942-81-3154
沖縄県 1校	43	学校法人 松正学園 専門学校沖縄総合医療学院	〒901-2132 沖縄県浦添市伊祖4丁目1番-19号	098-875-8377 098-875-8366
合 計			43校	

# 公益社団法人 全国柔道整復学校協会

## 学校理事長・校長・正会員名簿

令和7年4月1日現在

都道府県		学 校 名	理事長	校 長	正会員
北海道	1	公益社団法人 北海道柔道整復師会 附属北海道柔道整復専門学校	高山 訓正	當瀬 規嗣	高山 訓正
岩手県	2	学校法人 龍澤学館 MCL盛岡医療大学校	龍澤 尚孝	鈴木 一幸	松岡 靖
宮城県	3	学校法人 東北柔専 仙台接骨医療専門学校	島谷 剛美	島谷 夕美	島谷 夕美
	4	学校法人 赤門宏志学院 仙台赤門医療専門学校	坂本 正憲	坂本 浩樹	坂本 正憲
福島県	5	学校法人 平成医療学園 福島医療専門学校	岸野 雅方	飯島 正治	岸野 雅方
群馬県	6	学校法人 国際中央学園 中央スポーツ医療専門学校	中島 利郎	田村 浩之	中島 利郎
埼玉県	7	学校法人 大川学園 大川学園医療福祉専門学校	奥村 千秋	平澤 淳	平澤 淳
	8	学校法人 呉竹学園 大宮呉竹医療専門学校	坂本 歩	齊藤 秀樹	齊藤 秀樹
東京都	9	学校法人 花田学園 日本柔道整復専門学校	櫻井 康司	櫻井 康司	櫻井 康司
	10	学校法人 呉竹学園 東京呉竹医療専門学校	坂本 歩	村上 哲二	村上 哲二
	11	学校法人 敬心学園 日本医専	小林 光俊	岸本 光正	奥田 久幸
	12	学校法人 エイジェック学園 スポーツ健康医療専門学校	石原 征二	桑原 淳	桑原 淳
	13	学校法人 滋慶学園 東京メディカル・スポーツ専門学校	浮舟 邦彦	関口 正雄	関口 正雄
	14	学校法人 片柳学園 日本工学院八王子専門学校	千葉 茂	中村 英詞	千葉 茂
	15	学校法人 創志学園 日本健康医療専門学校	増田 哲也	清宮 克幸	大橋 博
	16	学校法人 都築科学学園 関東柔道整復専門学校	都築 慶子	福井 次矢	福井 次矢
	17	学校法人 小倉学園 新宿医療専門学校	小倉 基義	小倉 芳裕	永野 修
	18	学校法人 西田学園 アルファ医療福祉専門学校	西田 忠康	瀧 将仁	瀧 将仁
	19	学校法人 常陽学園 東京医療福祉専門学校	濱田 良機	殿村 康一	殿村 康一
神奈川県	20	学校法人 呉竹学園 横浜呉竹医療専門学校	坂本 歩	坂本 歩	田中 秀和
静岡県	21	学校法人 森島学園 専門学校浜松医療学院	森島 康之	鈴木 康仁	鈴木 康仁

都道府県		学 校 名	理事長	校 長	正会員
愛知県 3校	22	学校法人 米田学園 米田柔整専門学校	米田 忠正	山本 啓司	米田 忠正
	23	学校法人 滋慶コミュニケーションアート 名古屋医健スポーツ専門学校	竹本 雅信	木村 一郎	竹本 雅信
	24	学校法人 葛谷学園 中和医療専門学校	楠本 高紀	清水 洋二	清水 洋二
京都府 1校	25	学校法人 滋慶コミュニケーションアート 京都医健専門学校	竹本 雅信	藤田 裕之	竹本 雅信
大阪府 7校	26	学校法人 関西医療学園 関西医療学園専門学校	武田 大輔	武田 大輔	廣岡 聡
	27	学校法人 明治東洋医学院 明治東洋医学院専門学校	谷口 和彦	三澤 圭吾	谷口 和彦
	28	学校法人 平成医療学園 平成医療学園専門学校	岸野 雅方	北野 吉廣	北野 吉廣
	29	学校法人 森ノ宮医療学園 森ノ宮医療学園専門学校	清水 尚道	清水 尚道	清水 尚道
	30	学校法人 履正社 履正社国際医療スポーツ専門学校	釜谷 等	池尾 忠思	田中 雅博
	31	学校法人 近畿医療学園 近畿医療専門学校	小林 英健	小林 栄美	小林 英健
	32	学校法人 大阪滋慶学園 東洋医療専門学校	浮舟 邦彦	太田 宗夫	古谷 圭司
兵庫県 1校	33	学校法人 神戸創志学園 関西健康科学専門学校	岡田 典世	住田 行志	岡田 典世
岡山県 1校	34	学校法人 朝日医療学園 朝日医療大学校	津島 伸章	草地 清志	津島 伸章
広島県 1校	35	学校法人 IGL学園 IGL医療福祉専門学校	永見 憲吾	川端 一弘	川端 一弘
香川県 1校	36	学校法人 大麻学園 四国医療専門学校	大麻 正晴	青木みゆき	大麻 正晴
愛媛県 1校	37	学校法人 河原学園 河原医療福祉専門学校	河原 成紀	石崎 学	水野 晋悟
福岡県 4校	38	学校法人 福岡医療学院 福岡医療専門学校	藤瀬 武	藤瀬 武	藤瀬 武
	39	学校法人 滋慶学園 福岡医健・スポーツ専門学校	浮舟 邦彦	古谷野 潔	古谷野 潔
	40	学校法人 都築学園 福岡天神医療リハビリ専門学校	都築 仁子	大川 照明	大川 照明
	41	学校法人 国際志学園 九州医療スポーツ専門学校	水嶋 章陽	赤木 恭平	水嶋 章陽
佐賀県 1校	42	学校法人 九州アカデミー学園 九州医療専門学校	門司 誠一	井上 勇介	門司 誠一
沖縄県 1校	43	学校法人 松正学園 専門学校沖縄統合医療学院	松浦 幸男	鈴木 信司	鈴木 信司

## 賛助会員名簿

賛助会員団体名	代表者氏名	住 所	電話番号
株式会社南江堂	代表取締役社長 小立 健 太	〒113-8410 文京区本郷3-42-6	03-3811-7140
医歯薬出版株式会社	代表取締役社長 白石 泰 夫	〒113-8612 文京区本駒込1-7-10	03-5395-7616

## 公益社団法人 全国柔道整復学校協会 教育支援委員会教科書部会 名簿

令和7年4月1日より令和9年3月31日まで

令和7年4月1日現在

	学 校 名	職 名	氏 名
担当理事	大宮呉竹医療専門学校	校長	齊藤 秀樹
部会長	明治東洋医学院専門学校	校長	三澤 圭吾
副部会長	大宮呉竹医療専門学校	教員	村澤 幸弘
部員	仙台接骨医療専門学校	教頭	佐藤 真希
部員	福島医療専門学校	教務部長	齊藤 慎吾
部員	中央スポーツ医療専門学校	専任教員	北澤 和貴
部員	スポーツ健康医療専門学校	副学科長	淵ノ上真太郎
部員	専門学校浜松医療学院	教務部長	錦織 輝礼
部員	米田柔整専門学校	教員	生駒 慎二
部員	朝日医療大学校	学科長	横見瀬ゆかり
部員	河原医療福祉専門学校	学科長代理	三木宏太郎
部員	福岡医健・スポーツ専門学校	専任教員	水元 宏哉
部員	九州医療専門学校	学科長	徳安 琢磨

## 公益社団法人 全国柔道整復学校協会 教育支援委員会教員研修等部会 名簿

令和7年4月1日より令和9年3月31日まで

令和7年4月1日現在

	学 校 名	職 名	氏 名
担当理事	日本体育大学保健医療学部	教授	伊藤 譲
(副)担当理事	学校法人 国際志学園	理事長	水嶋 章陽
部会長	森ノ宮医療学園専門学校	教員	葉山 直史
副部会長	九州医療スポーツ専門学校	教務部長	桑野 幸仁
部員	日本工学院八王子専門学校	科長	有山 敦士
部員	関東柔道整復専門学校	学科長代理	加藤 稔啓
部員	東洋医療専門学校	副学科長	山田 靖典
部員	四国医療専門学校	専任教員	四宮 英雄
部員	専門学校沖縄統合医療学院	教員	登崎 正行

## 公益社団法人 全国柔道整復学校協会 教育支援委員会専科教員認定講習部会 名簿

令和7年4月1日より令和9年3月31日まで

令和7年4月1日現在

	学 校 名	職 名	氏 名
担当理事	日本医専	相談役	奥田 久幸
(副)担当理事	日本体育大学保健医療学部	教授	伊藤 譲
部会長	大宮呉竹医療専門学校	臨床教育研究センター マネージャー	川口 央修
副部会長	平成医療学園専門学校	校長	北野 吉廣
部員	日本柔道整復専門学校	教務部長	山口 竜彦
部員	日本健康医療専門学校	専任教員	新才 博紀
部員	新宿医療専門学校	専任教員	春日 貴之
部員	明治東洋医学院専門学校	専任教員	神内 伸晃
部員	近畿医療専門学校	教務部長	上野 雅洋

# 公益社団法人 全国柔道整復学校協会

## 教育支援委員会柔道整復師国家試験模擬試験部会 名簿

令和7年4月1日より令和9年3月31日まで

令和7年4月1日現在

	学 校 名	職 名	氏 名
担当理事	大宮呉竹医療専門学校	校長	齊藤 秀樹
部会長	東京呉竹医療専門学校	科長	杉山 直人
副部会長	明治東洋医学院専門学校	教務部次長	秋津 知宏

### 問題作成小委員会（7名）

部員	附属北海道柔道整復専門学校	教務主任	野崎 享
部員	東京メディカル・スポーツ専門学校	学科長	小関 孝男
部員	横浜呉竹医療専門学校	科長	田中 秀和
部員	中和医療専門学校	学科長	太田 康晴
部員	関西医療学園専門学校	学生部長補佐	林 竜也
部員	履正社国際医療スポーツ専門学校	専任教員	西 正人
部員	四国医療専門学校	学科主任	鹿庭 祥平

### データ処理小委員会（4名）

部員	大宮呉竹医療専門学校	臨床教育センターマネージャー	川口 央修
部員	東京呉竹医療専門学校	柔道整復科 専任教員	池亀 耕太
部員	明治東洋医学院専門学校	実技主任	神内 伸晃
部員	明治東洋医学院専門学校	学生科長	奥田 香苗

## 公益社団法人 全国柔道整復学校協会 広報・調査委員会 委員名簿

令和7年4月1日より令和9年3月31日まで

令和7年4月1日現在

	学 校 名	職 名	氏 名
担当理事	四国医療専門学校	理事長	大麻 正晴
委員長	東京呉竹医療専門学校	事務長補佐	廣木 智
副委員長	四国医療専門学校	学科主任	鹿庭 祥平
委員	仙台接骨医療専門学校	教頭	佐藤 真希
委員	仙台赤門医療専門学校	専任教員	亀井 啓
委員	日本医専	専任教員	片橋 るみ
委員	関西医療学園専門学校	次長	徳田 明也
委員	森ノ宮医療学園専門学校	学科長	外林 大輔
委員	関西健康科学専門学校	教員	宮崎 香織

## 公益社団法人 全国柔道整復学校協会 柔道委員会 委員名簿

令和7年4月1日より令和9年3月31日まで

令和7年4月1日現在

	学 校 名	職 名	氏 名
担当理事	関西医療学園専門学校	副校長	廣岡 聡
委員長	東京呉竹医療専門学校	科長補佐	早川 幸秀
副委員長	京都医健専門学校	副校長	湊谷 知幹
委員	日本柔道整復専門学校	教員	赤羽 泰彦
委員	日本医専	教員	長坂 愛
委員	名古屋医健スポーツ専門学校	副校長	米女 博司
委員	I G L 医療福祉専門学校	教員	埜 義徳

# 公益社団法人 全国柔道整復学校協会 組織運営委員会 委員名簿

令和7年4月1日より令和9年3月31日まで

令和7年4月1日現在

	学 校 名	職 名	氏 名
担当理事	履正社国際医療スポーツ専門学校	副校長	田中 雅博
委員長	履正社国際医療スポーツ専門学校	学科長	辻井 宏昭
副委員長	東京医療福祉専門学校	学科長	伊藤 浩二
委員	MCL盛岡医療大学校	副主任	佐々木智章
委員	大川学園医療福祉専門学校	学科長	霞 孝行
委員	アルファ医療福祉専門学校	学科長	中神 太一
委員	明治東洋医学院専門学校	事務局長	藤井 義巳
委員	福岡医療専門学校	副校長	藤瀬 正
委員	福岡天神医療リハビリ専門学校	学科長	小川 勝

## ❀❀❀❀❀ 編集後記 ❀❀❀❀❀

暑い季節を迎え、今年も早くも半分を過ぎたのだと否応なしに気付かされます。

街角の木々の緑も、陽の光を透していた萌黄色<sup>もえぎいろ</sup>からその色を濃くしています。毎年のことではありますが、「この子達、大丈夫か?」と思っていた学生たちの、その姿に心なしか自信のようなものがうかがえるようになるのも、この季節の特徴でしょうか。

突然ですが、私のこれまでの人生の中で巡り合った美しい日本語は沢山ありますが、心の琴線に触れた中の一つに、『常盤時雨<sup>ときわしぐれ</sup>』という言葉があります。本来、常盤木<sup>ときわぎ</sup>の言葉に表されるように、常緑樹は落葉樹に対して、葉を落とすことなく常にその緑を保っているイメージがあります。しかしながら、時に突然、常緑樹も時雨のようにその葉をハラハラと落とす時があるそうです。けっして、それは自動車の排気ガスや公害によるものではなく、常緑を保つために、自らのいらぬ葉を落とし整えるという生命のいとなみだそうです。

さて、棋界も長い歴史はありますが、ご存知の通り私たちを取り巻く環境（出生率の低下、AIの発達、進路の選択肢の多岐等）は、日々大きく変化しています。不易流行、基本を大切にしながら新しいものにも積極的に挑戦し、それとともに常に襟を正していかなければ明日はないと考えます。その一助となるためにも、広報部も内外への情報発信に関し、更なる努力が大事であると考えます。

あらためて、いつまでも青葉茂れる棋界であってほしいと願う次第です。

広報・調査委員会 委員  
仙台赤門医療専門学校 亀井 啓

公益社団法人 全国柔道整復学校協会広報誌 **会 報** 第75号

令和7年7月 発行

発 行 所 公益社団法人 全国柔道整復学校協会  
発 行 人 谷 口 和 彦

〒105-0013 東京都港区浜松町1丁目6-2  
丸神ビル1階

電 話 03-5405-1690

F A X 03-5405-3790

ホームページ <https://www.judo-seifuku.or.jp/>

印 刷 所 大和総合印刷株式会社



# 専科教員認定講習会

公益社団法人 全国柔道整復学校協会



公益社団法人 全国柔道整復学校協会は、  
専科教員資格取得のための講習会を  
開催しています。

教員資格を取得するためには、  
専科教員認定講習会の受講が必要です。

詳細は、2026年3月頃に学校協会ホームページにて公開  
の予定です。



[www.judo-seifuku.or.jp](http://www.judo-seifuku.or.jp)

THE JAPAN ASSOCIATION OF JUDO-SEIFUKU COLLEGES

公益社団法人 全国柔道整復学校協会

〒105-0013 東京都港区浜松町1丁目6-2 丸神ビル1階

TEL.03-5405-1690 FAX.03-5405-3790

